

2025

令和7年度
学校要覧

National Institute of Technology (KOSEN), Toyama College

教育理念

創 意・創 造
自 主・自 律
共 存・共 生



上記校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的
社会といったメッセージがこめられています。組み
合わさって表現される形は、アルファベットのTをイ
メージ。これは、Think(考える)、True(真実)、
Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同
時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)の
Tをあらわしています。

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝
池辺晋一郎
曲 詩

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎でともに手を取り

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春をともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代とともに支えて

目 次 Contents



本郷キャンパス



射水キャンパス

1 学校紹介	1
2 組織	10
3 学科紹介	12
4 専攻科紹介	27
5 教員名簿	30
6 入試広報センター	36
7 研究開発共創センター	36
8 国際教育センター	37
9 図書館情報センター	38
10 船舶運航センター	39
11 学生生活	40
12 地域社会との連携	44
13 研究活動	46
14 国際交流活動	47
15 財務状況	49
16 在学状況	51
17 入試状況	52
18 進路状況	54

1 学校紹介

■校長あいさつ



校長 くに えだ よし あき
国 枝 佳 明

ようこそ富山高専へ！

皆さまにおかれましては、日頃より富山高等専門学校の教育・研究に多大なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。本誌『令和7年度学校要覧』をご覧ください、重ねて御礼申し上げます。

本校は、「創意・創造」「自主・自律」「共存・共生」を教育理念とし、学生たちが学問的・人間的に成長できる環境づくりに努めています。また、学生一人ひとりの希望と社会のニーズに応じた人材、さらには研究開発やビジネスの分野でリーダーシップを発揮できる人材育成を目指しています。特に、自分で考え、創意工夫を凝らして行動できる主体性のある人材の育成に力を入れています。

本校は機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科並びに電子情報工学科の工学系4学科に加え、人文社会系の国際ビジネス学科、そして商船学科という計6学科があり、固定観念にとらわれない柔軟な発想で社会をリードできる人材を育てる、特色のある教育環境が整っています。

本校では、それぞれの専門分野における高度な知識や技術の修得に加え、数理・データサイエンス・AI教育の強化に取り組んでいます。これにより、さまざまな情報を自在に活用し、技術やイノベーションを経営に活かすマネジメント能力を有する人材の育成を推進しています。AI分野をはじめとして、「もの」や「こと」の急激な変化に対応するため、数理・データサイエンス・AI教育に加え、スタートアップ教育やグローバル教育も柱とし、未来を見据えた人材育成に注力しています。

本校における「15歳からはじまるキャンパスライフ」では、実験・実習にとどまらず、日々の授業においても学生が主体的に学び自ら考える工夫を凝らしています。その成果として「自己肯定感」が高まっています。また、クラブ活動も活発に行われ、各種大会やコンテストへの参加を通じて、仲間との「つながり」を育み、コミュニケーション能力や友情を培う青春の貴重な経験となっています。本誌を通じて、学生達が Well-being を実感しながら学ぶキャンパスの様子を思い描いていただければ幸いです。

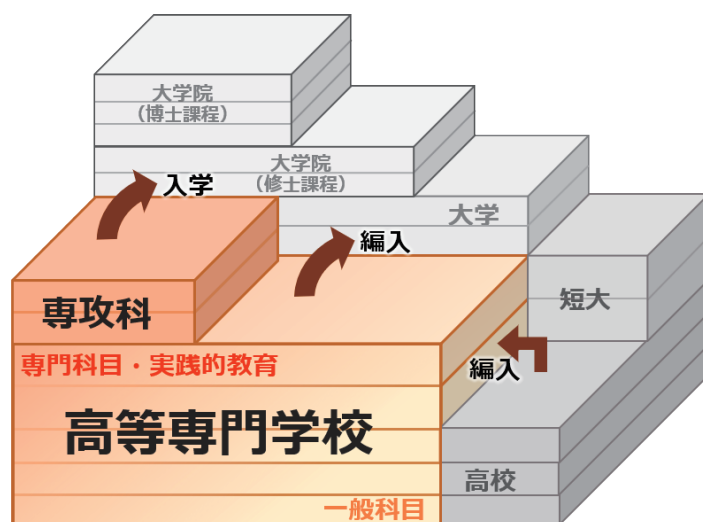
富山高等専門学校では、その特徴を活かし、学生達が自ら考え、他と協調し、創意工夫をもって果敢に挑戦できるよう支援しています。そして、教育と研究を通じて、他人や社会のために貢献できる人材の育成を目指し、教職員が一丸となって取り組んでいます。本誌を読み進める中で、いきいきと学びに励む学生たちの姿を感じていただければ幸いです。今後とも皆様の変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 本校の特質

富山高等専門学校は、富山工業高等専門学校（昭和39年設置）と富山商船高等専門学校（昭和42年設置）が、平成21年に高度化再編による統合により設置されました。工学系4学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科）、全国では稀有な文系の国際ビジネス学科、東日本では唯一の商船学科という幅広い教育分野の本科6学科、専攻科4専攻を有する全国でも例のない高専です。国内有数の高等教育研究機関として、また国内51の高等専門学校の学術的・産業的研究分野のトップ校として、科学技術・海洋に関連する高度な研究者、北陸・我が国そして世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、及び海事技術者の育成を行っています。

■ 15歳からはじまるカレッジライフ

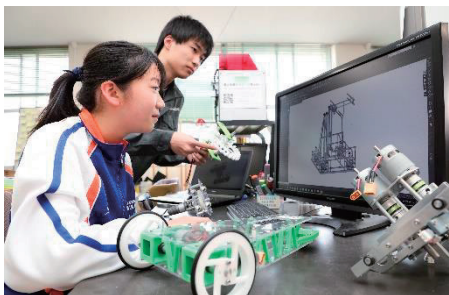
高等専門学校は、高等学校とは異なり、学校制度の中では大学と同じく「高等教育機関」として位置づけられています。例えるなら「中学校卒業から入れるカレッジ」で、「5年一貫教育」「くさび形教育」「実践的教育」という3つの大きな特徴があります。これを本校では、「15歳からはじまるカレッジライフ」と呼んでいます。



■ 本校の強み・地理的特性

富山県は歴史的に、北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・化学産業、そして立山連峰のダムのエネルギー・水資源利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。県内企業の多くは東南アジアを中心として広く支店網を持つ国際的企業であり、海外在留経験者の数も多いです。また、富山県の大学は、富山大学を含む4つの4年制大学と2つの短期大学しかなく、県内高等教育機関としての本校の役割は極めて重要となります。

本校の多分野にまたがる15歳からの専門基礎教育は、富山県の人材供給要請に良く対応しており、それぞれの分野及び地域の産業界から高く評価されています。このことは全国トップクラスの高専サポート企業の数及び受託研究・共同研究件数にも表れています。また、専攻科生を含めた地元就職率についても、全国高専でトップクラスです。これらのことから地域産業界への貢献度は非常に高いです。



本校の取り組み

1 学校のマネジメント

1.教育内容の充実

- ・AI・データサイエンス教育の全学的展開
- ・スタートアップに関連する環境・教育コンテンツ整備
- ・地域産業界と連携した実践教育
- ・国際交流を通じたグローバルな人材の育成
- ・他大学との連携（富山大学、金沢大学、広島大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、東京海洋大学、北陸先端科学技術大学院大学）



産学連携授業（Ti-TEAM）

2.入試広報の強化

- ・本科学力試験の志望学科枠の全学科への拡大
- ・校長による中学校訪問
- ・全国の高専で受験可・WEB 出願
- ・志願者対策の強化（カレッジガイド、ポスター、公用車／バスラッピング、Google 広告）
- ・入試広報、広報物、教育体制などへの学生の積極的参加



起業家工房でARゴーグルを活用する学生

3.ダイバーシティ化

- ・女子学生比率、女子学生数は全国高専トップ、女性教員数も全国トップクラス
- ・帰国生徒の受け入れ実施
- ・学生の多様化への対応
- ・シラバス英語版の作成、本科・専攻科授業の英語化の強化、留学生受入、HP 英語版及び中国語版の更新、学校紹介動画の字幕の多言語化（タイ語・インドネシア語）
- ・障害を理由とする差別の解消と、合理的配慮のもとに、様々なニーズに的確に対応する相談・支援体制の整備

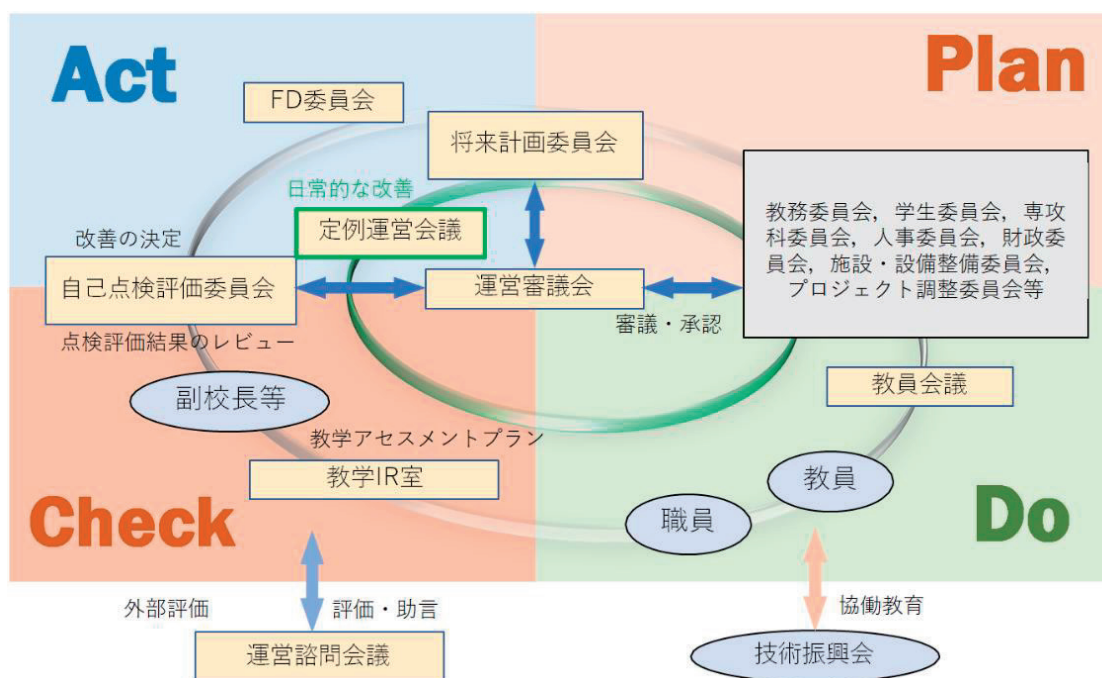


タイ・KMITL 短期留学生の受け入れ

4.両キャンパスのワンカレッジ化

- ・両キャンパス校内行事の統一
- ・教員・事務職員の互いのキャンパス勤務
- ・両キャンパスクラブ活動の協力・統合（野球部、柔道部、吹奏楽部、アントレプレナー研究同好会等）

5.内部質保証システム



※内部質保証システムとは、本校の教育・研究等の内部質保証を行い、向上させ、適切な水準にあることを、自らの責任で説明・証明するために、日常的な改善や年間単位等の改善を段階的に実施するものです。

2 危機管理体制

- ・ Teams を活用した危機管理体制による執行部の迅速な対応
- ・ Teams や連絡網システムを利用した、学生・保護者・教職員への緊急連絡体制の整備
- ・ 感染症の発生や荒天時等に備えた遠隔授業体制の整備
- ・ カウンセラー5名、スクールソーシャルワーカー2名雇用による学生相談体制拡充
- ・ 防犯カメラ設置による安全安心体制の整備
- ・ Microsoft365・本校メールの多要素認証

3 学力向上・教育力向上

- ・ 学力向上のための、CBT（Computer Based Test）を実施、授業での利用
- ・ 全学科における BYOD 活用による教育の高度化・効率化
- ・ 英語力向上のため TOEIC IP テストを受験（本科3・4年生、専攻科1年生全員）
- ・ ピアサポートによる学習会、学生寮における学習会
- ・ 進学希望者向けの補講、特命フェローによるキャリア教育
- ・ オンライン教材を利用した効果的な自学自習の支援
- ・ 外部講師による FD 研修会
- ・ 先端的な教育活動として学識者による特別講演会を保護者後援会の支援により実施
- ・ 進学・就職指導室による就職活動の支援
- ・ アセスメントプランに基づく、教育の点検評価（教学マネジメント）
- ・ 教員間の授業参観（ピアレビュー）、学生授業アンケートによる授業改善

4 原級留置者・休学者・退学者数

本校は、学習指導、生活指導、寮生活指導など学校全体として以下の取り組みを行っています。

- ・ 教科担当による学力不振学生への補講
- ・ 朝のショートホームルームによる学生の健康確認
- ・ Web 出席簿による出席状況の共有
- ・ 学生・保護者と学校との連絡体制の強化
- ・ 学生相談室主導アンケートによるメンタルチェック
- ・ 補習、追認試験の実施方法や単位認定基準・進級要件の検討
- ・ 各科目の成績分布ヒストグラム、未修得割合、授業アンケートの結果分析による授業改善

5 教育の国際化

教育のグローバル化が進む中、国際教育センターを設置し、積極的に教育の国際化に向けて、以下の取り組みを行っています。

- ・ 授業および海外インターンシップでの学生の海外派遣
- ・ 短期および長期の留学生の受入
- ・ グローバル人材育成事業
- ・ 高専生の海外活動支援事業

6 研究力向上・地域との連携

- ・ 第3ブロック（東海・北陸・近畿地区）高専の連携による第3ブロック専攻科研究フォーラムへの学生の参加
- ・ 研究活動を行う外部資金獲得のための講習会の実施、高専機構のコーディネーター（KRA）などによる査読による申請書類のブラッシュアップの実施、種々の財団助成金等の申請支援
- ・ 国立高専最大級（会員数300超）の本校技術振興会との連携事業の実施や、本校との共催による「とやま KOSEN コラボフォーラム」における本校教員と会員企業、本校学生とのネットワーキングの企画
- ・ 令和元年度からスタートした、本科1年生全員が技術振興会会員企業の調査・プレゼンテーション作成を行う演習（Ti-TEAM）の実施
- ・ 富山湾における海洋実習などの地域での学びの機会への参画

7 スタートアップに関連する環境・教育コンテンツ整備

「高等専門学校スタートアップ教育環境整備事業」による起業家工房（とやま KOSEN スタートアップ HUB）の設置、運営を行っています。

本校の卒業生の我が国の産業の高度化・海外展開などのキーパーソンとして活躍してきた実績を踏まえ、「学生による起業（アントレプレナー）」に留まらず、起業家精神（アントレプレナーシップ）をもった卒業生が地域産業で新たな事業を企業内起業（イントレプレナー）の形などで興していくことを目的に以下の取り組みを実施しています。

- ・学科・キャンパスの異なる学生チームによる企業課題の調査を通じた課題解決手段の提言、それを通じた企業内起業を目指した「課題発見型インターンシップ」
- ・低学年から高学年までの授業や実習における知的財産に関する学習機会の提供
- ・地域産業の調査、視察事業の実施
- ・企業課題・技術をテーマとした課題・問題解決型学習（PBL）の実施

また、北陸先端科学技術大学院大学を中心に北陸地区の大学・高専が参画するスタートアップエコシステム創出事業への参画による、教職員のスタートアップマインド醸成、チャレンジ機会の提供を行っています。

8 練習船 若潮丸 代船建造プロジェクト

現在の練習船は建造後約30年が経過し、安全な実習を確保できる設備への更新や、無人化操船やゼロエミッション船化といっためざましい技術進歩に対応できる高度な人材の育成も求められており、「災害支援機能を有する高等専門学校練習船整備事業」として、全国の商船系の5高専の練習船が順次更新されています。シリーズ船の4船目となる本校の若潮丸の代船も、令和8年3月の就航に向けて建造が進んでいます。若潮丸V世となる代船は、日本海側唯一の商船系高専の練習船であり、水中観測装置を揚げ降ろするAフレーム、オンボード操船シミュレーターや電動推進システムなどを備えることが特徴であり、次のような役割を担います。

- ・船舶職員として必要な知識・技術と汎用的能力を備えた海洋人材の輩出
- ・IoTやAIといった最新の情報技術を基礎としたデジタル技術や、地球環境問題解決に対応できる高度な能力を持つ人材の育成
- ・災害時における被災者支援、衛星を用いた携帯電話通信、支援物資の輸送などの多目的な利用
- ・船舶を有しない大学等の高等教育機関との海洋観測等に関する共同研究・教育や、練習船を利用した企業との共同研究
- ・小中学校生を対象とした乗船体験や海洋観測プログラムなどの海洋広報活動

9 同窓会との連携

令和元年、本校は統合再編から10周年を迎え、この機会に統合高専としての新たな同窓会「富山高等専門学校同窓会」が設立されました。この新同窓会は統合後の卒業生を中心に組織され、旧富山工業高等専門学校の同窓会（ほんごう会）及び旧富山商船高等専門学校の同窓会（北斗会）と連携を図りながら活動を行うこととし、学校と同窓会の窓口を一本化しました。

本校同窓会には、式典や運営諮問会議等の学校行事への参画をいただいているとともに、学校への支援・協力をいただいています。

10 業務削減・効率化

- ・リモート会議利用によるキャンパス間移動の負担軽減・会議資料のペーパーレス化
- ・契約業務の効率化（両キャンパス一括契約・複数年契約等）
- ・省エネ喚起、ガス・電気使用状況の毎月報告・見える化
- ・教員のクラブ活動指導の負担軽減のための課外活動指導員の採用
- ・デスクネットを活用した電子決裁・AppSuiteの導入、押印省略の推進、報告書の提出の効率化
- ・各種委員会の見直し
- ・ノー残業デーの導入

■ 本校の教育目標

1 「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は、専門知識・技術を有する創造的な人材の育成です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2 「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのためまず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3 「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

■ 準学士課程（本科）ディプロマポリシー（育てる人材像）

富山高等専門学校は、専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成（創意・創造）、自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成（自主・自律）、豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成（共存・共生）を理念としている。本校ではこの理念に基づいて、以下の卒業認定に必要な能力を身に付け、各学科が定める学習成果を上げた者に準学士の称号を授与する。

- 1 国内外の実社会で活用できる科学的基礎知識とリベラルアーツを身に付けている。
- 2 専門基礎知識を修得し、実験・実習および演習・実技を通してその知識を社会実装に応用・実践できる。
- 3 AI・データサイエンスに関する情報科学の素養とビジネスの視点を身に付け、新たな価値の創造に挑戦できる。
- 4 自分の意見を論理的に表現し、周囲と理解・尊重しあうコミュニケーション力を身に付けている。

■ 専攻科ディプロマポリシー（育てる人材像）

富山高等専門学校は、専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成（創意・創造）、自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成（自主・自律）、豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成（共存・共生）を理念としている。富山高等専門学校専攻科ではこの理念を発展させた以下のような能力と素養を身に付けた学生に修了を認定する。

- 1 国内外の多様な社会で活用できる科学的知識とリベラルアーツを身に付けている。
- 2 高度な専門知識を修得し、その知識を応用・実践し社会実装できる。
- 3 自らの意見を表現するとともに、多様な人々との協働を可能にするコミュニケーション能力を身に付けている。

■ 教育システムに関する外部（第三者）評価

1 大学改革支援・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究活動等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。本校では令和4年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、認定を受けています。また、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書（評価結果）及び自己評価書が大学改革支援・学位授与機構のホームページ上で公表されています。

2 大学改革支援・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は、6学科に対応する4専攻（エコデザイン工学専攻、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、及び海事システム工学専攻）からなる専攻科を設置しています。専攻科の教育システムは5年に一度、大学改革支援・学位授与機構による審査があり、本校は、「特例適用専攻科」の認定を受けています。これにより、学士の学位取得にあたって必要な学修成果に関する大学改革支援・学位授与機構での試験が免除されます。

3 JABEE（日本技術者教育認定機構）認定

本校では、「エコデザイン工学」教育プログラム（ECOdesign Engineering）、ならびに「制御情報システム工学」教育プログラム（Control Information System Engineering）の2つの技術者教育プログラムを設置しています。これらの技術者教育プログラムは、国際化に対応した技術者教育を行っているとして日本技術者教育認定機構（JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education）より認定を受けています。これにより、エコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻の修了生は修習技術者と認められ、国家資格「技術士」の第一次試験が免除されます。

- ・「エコデザイン工学」教育プログラム（平成16年度より認定）

本校の機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科いずれかの卒業生で専攻科エコデザイン工学専攻修了生が対象となります。

- ・「制御情報システム工学」教育プログラム（平成20年度より認定）

本校の電子情報工学科の卒業生で専攻科制御情報システム工学専攻修了生が対象となります。

4 商船学科のSTCW 教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは、卒業時の海技士資格（国際標準）取得を目指すものとなっており、教育プログラムについては、5年に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省は、日本の船舶職員教育機関の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告しています。商船学科は、このSTCW条約に基づく資質基準制度により、適正な船舶職員養成機関として認定されています。

5 KIS（国立高専教育国際標準）認定

国立高専教育国際標準（KOSEN International Standard : KIS）とは、高専の5年間の本科教育に対して、国際的な教育の質保証を国内外に明示するものです。本校では、令和5年度にKISを受審し、認定を受けています。

6 運営諮問会議による審議・評価

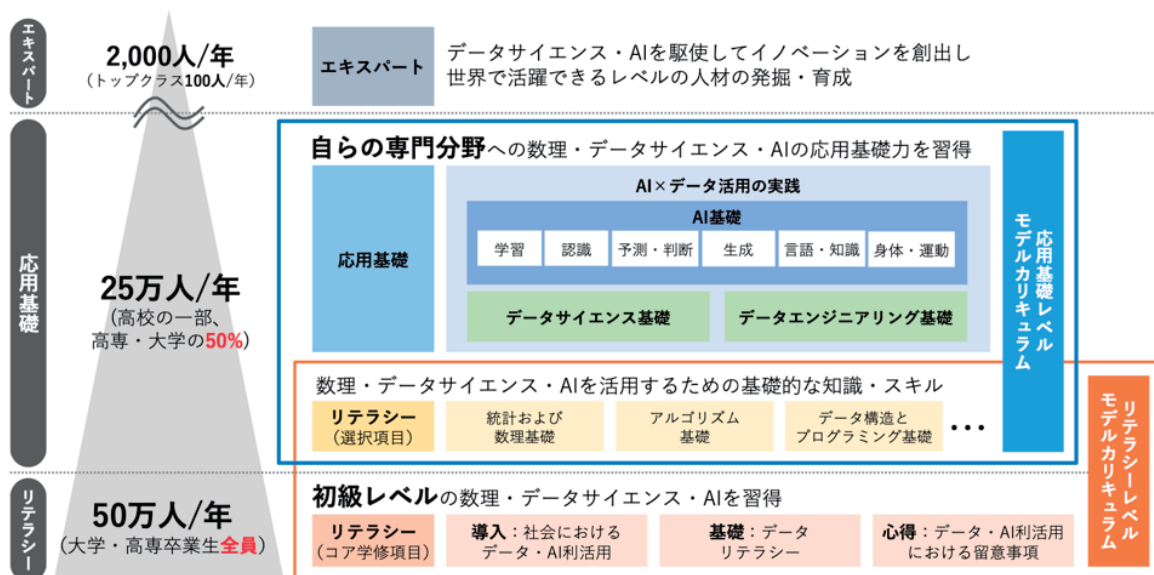
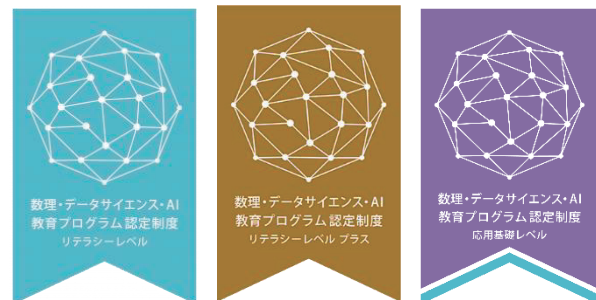
運営諮問会議は、広範な知識と高い見識を持つ外部の方々から、本校の運営や教育・研究活動、自己点検評価等について、指導や助言を受けることを目的として開催されています。

7 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定

政府が示したAI戦略2019によれば、「数理・データサイエンス・AI」は、デジタルトランスフォーメーション(DX)社会の「読み・書き・そろばん」です。

本校では、DX社会で活躍する人材の輩出のため、全学科に対してBYOD(Bring Your Own Device)を導入したIT教育を進め、平成29年度入学生から全学科で、数理・データサイエンス・AI教育を実施しています。この教育プログラムは、文部科学大臣から「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」に富山県内で初めて認定されるとともに、令和4年度には全国の大学・高専のなかの18校の1つとしてリテラシーレベルプラスに選定されました。また、令和5年度には学校全体で応用基礎レベルに認定されました。

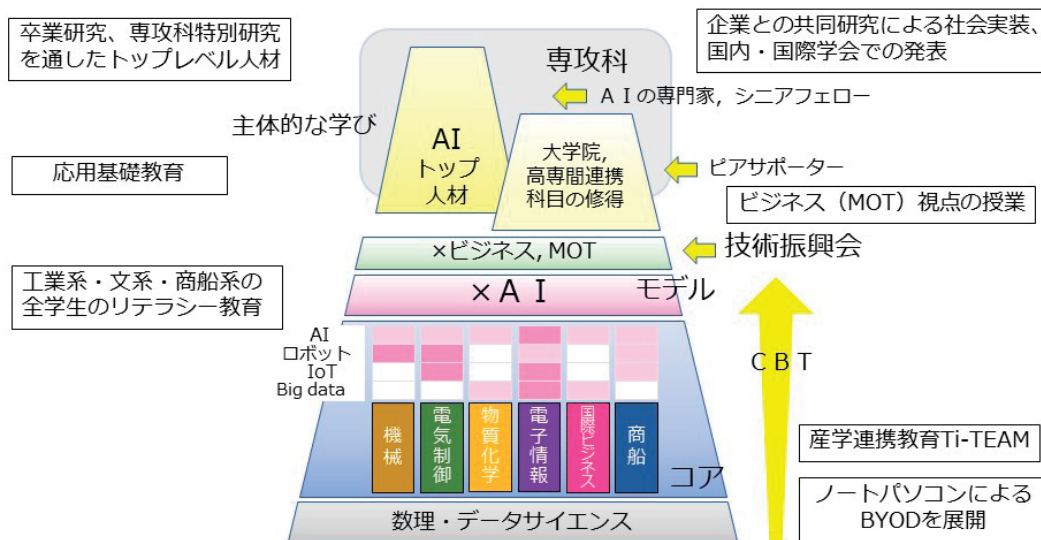
令和3年度入学生から全学生に対し、リテラシーレベルに加えて応用基礎レベルの教育プログラムを展開し、「データサイエンスI及びII」や「AI/MOT」を開講するなど、継続的に教育プログラムの改善、進化に努めています。



数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム(2024)
http://www.mfu-tokyo.ac.jp/consortium/pdf/model_oukyoukiso_20240222.pdf

富山高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム

Society5.0で「たくましく生きる」人材：専門×データ・AI



カリキュラム概念図

※Ti-TEAM:
Team Initiatives based on cooperative Education to support the Ability to discover and solve problems from Multiple perspectives の略

旧 富山工業高等専門学校

昭和39年4月	富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
昭和44年4月	金属工学科設置
平成元年4月	工業化学科を物質工学科に改組
平成5年4月	専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
平成6年10月	富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム―富山'94開催
平成7年4月	金属工学科を環境材料工学科に改組
平成16年4月	独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
平成17年5月	JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
平成19年10月	第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校機構 主管：富山工業高等専門学校）

旧 富山商船高等専門学校

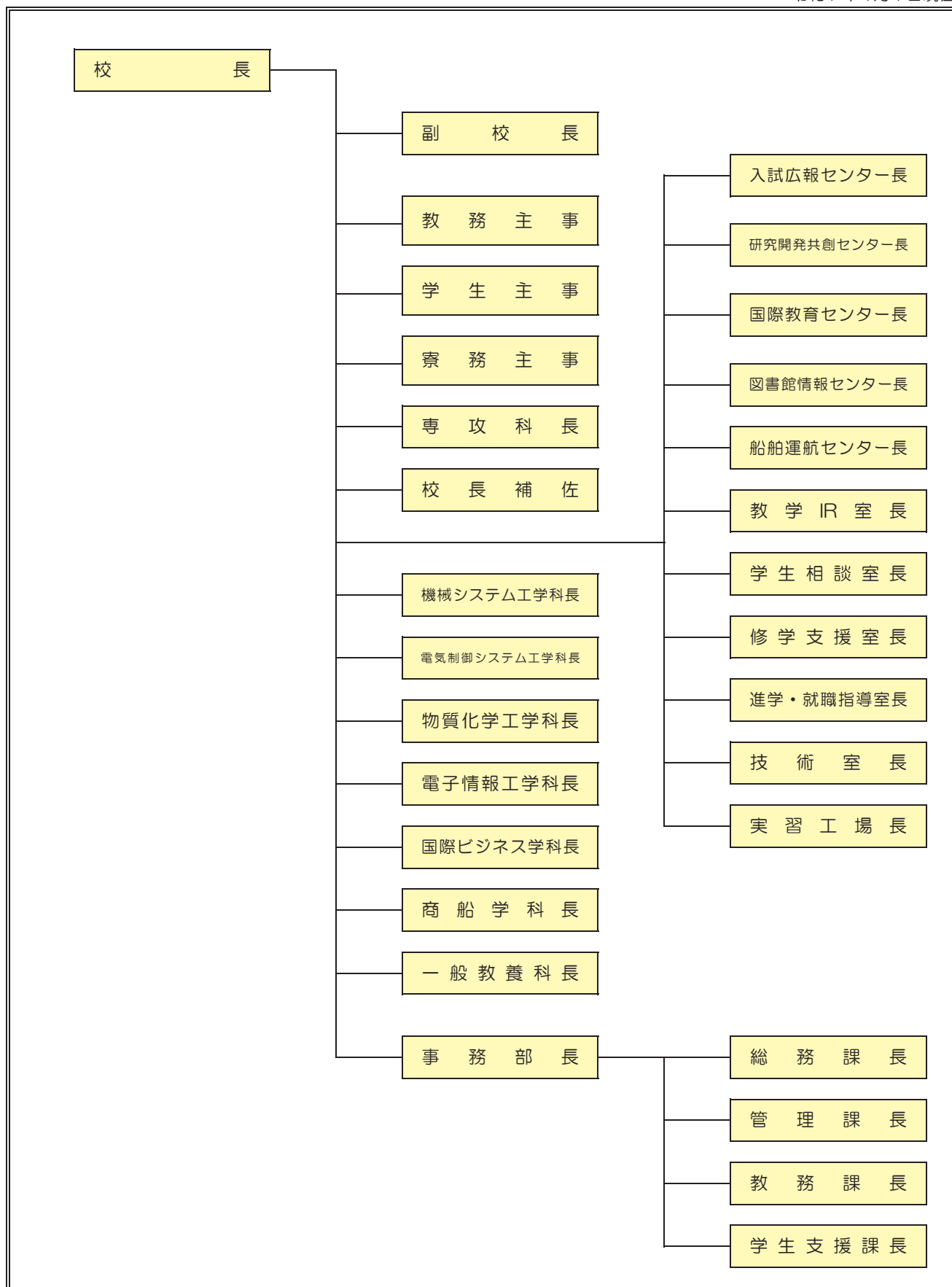
明治39年7月	新湊町立新湊甲種商船学校創立
明治42年4月	富山県へ移管、富山県立商船学校となる
昭和14年8月	文部省へ移管、富山商船学校となる
昭和17年1月	逓信省所管となる
昭和18年11月	運輸通信省所管となる
昭和20年5月	運輸省所管となる
昭和26年4月	文部省へ移管、富山商船高等学校となる
昭和42年6月	富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
昭和44年4月	現在地（新湊市海老江練合）に移転 航海学科1学級増
昭和60年4月	航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
昭和63年4月	航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
平成8年4月	国際流通学科設置
平成16年4月	独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
平成17年4月	専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
平成18年10月	創立100周年記念式典を挙行政
平成21年4月	JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

富山高等専門学校

平成21年10月	富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科エコデザイン工学専攻（機械・電気システム工学コース、機能材料工学コース）、制御情報システム工学専攻、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻） 新専攻科生（海事システム工学専攻）受入
平成22年4月	新学科生、専攻科生受入
平成27年4月	専攻科エコデザイン工学専攻（機械・電気システム工学コース、機能材料工学コース）をエコデザイン工学専攻に改組
平成27年10月	創立50周年・創基110周年記念式典を挙行政
令和元年6月	統合10周年記念式典を挙行政
令和3年6月	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）認定（全学科）
令和4年8月	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル プラス）選定（全学科）
令和5年3月	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
令和5年8月	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）認定（全学科）
令和6年3月	公益社団法人日本工学教育協会による国立高専教育国際標準(KOSEN International Standard : KIS)の認定

■ 組織図

令和7年4月1日現在



■ 役職者名簿

校長	國 枝 佳 明
副校長	塚 田 章
副校長	森 田 康 文
教務主事・校長補佐	河 合 孝 恵
教務主事・校長補佐	小 熊 博
学生主事・校長補佐	宮 崎 衣 澄
学生主事・校長補佐	日 比 端 洋
寮務主事・校長補佐	岡 根 正 樹
寮務主事・校長補佐	海老原 毅
専攻科長・校長補佐	阿 蘇 司
校長補佐（研究開発共創担当）	袋 布 昌 幹

学科等	
機械システム工学科長	坂 本 佳 紀
電気制御システム工学科長	百 生 登
物質化学工学科長	中 島 栄 次
電子情報工学科長	由 井 四 海
国際ビジネス学科長	岡 本 勝 規
商船学科長	保 前 友 高
航海コース主任	向 瀬 紀一郎
機関コース主任	経 田 僚 昭
一般教養科長・主任	山 本 有 希
主任	足 立 繭 子

専攻科	
専攻科長	阿 蘇 司
副専攻科長	白 川 英 観

入試広報センター	
入試広報センター長	横 田 数 弘
副センター長	石 田 文 彦

研究開発共創センター	
研究開発共創センター長	袋 布 昌 幹
副センター長	的 場 隆 一

国際教育センター	
国際教育センター長	峰 本 康 正
副センター長	古 山 彰 一

図書館情報センター	
図書館情報センター長	吉 川 文 恵
副センター長	萩 原 信 吾

船舶運航センター	
船舶運航センター長	亀 井 志 聖
臨海実習場長	中 谷 俊 彦
練習船若潮丸船長	金 山 恵 美

教学IR室	
教学IR室長	塚 田 章

学生相談室	
学生相談室長	松 原 義 弘

進学・就職支援室	
進学・就職支援室長	河 合 孝 恵

修学支援室	
修学支援室長	塚 田 章

技術室	
技術室長	森 田 康 文
技術長	上 堀 博 之

実習工場	
実習工場長	上 堀 博 之

事務部	
事務部長	浅 見 宏 信
総務課長	杉 本 美由紀
管理課長	増 永 武 夫
教務課長	黒 田 美 穂
学生支援課長	矢田部 正 寿

■ 教職員の現員

教職員等数			令和7年5月1日
教 員	校 長		1
	教 授		37
	准 教 授		40
	講 師		12
	助 教		11
	助 手		0
職 員	小 計		101
	事 務 職 員		61
	技 術 職 員		25
	小 計		86
合 計			187

所属別教員数		
学 科 等	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	12
	電 気 制 御 シ ス テ ム 工 学 科	12
	物 質 化 学 工 学 科	10
	電 子 情 報 工 学 科	11
	国 際 ビ ジ ネ ス 学 科	11
	商 船 学 科	12
	一 般 教 養 科	28
	練 習 船 若 潮 丸	4
合 計		100

■機械システム工学科

本物を追い求め、それを具現化する君たちへ 夢の実現は、いつだって「機械」からはじまる

機械工学は、人々の生活を豊かにする学問で、自動車やロケットなど輸送機器はもちろんのこと、スマートフォンや医薬品の製造など、様々な分野でモノづくりを支えています。モノづくりの基盤となるCAD・CAE（コンピューター支援設計・解析）だけでなく、これからの社会で不可欠となる制御、プログラミングに関する知識も講義と実験・実習を通してバランスよく学びます。本学科では幅広い分野で活躍できる創造的な機械エンジニアを育成します。



機械システム工学科

教育目標

機械学工学及びメカトロニクスの知識と技術を総合的に身につけ、機械設計・開発ができる技術者を育成します。

機械設計・生産、材料、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御などの機械システム工学の基礎知識を活用できる技術者を育成します。

機械工学的に考える能力を身につけ、産業分野だけでなく人々の生活で役立つ最先端な機械の設計・開発へと展開できる創造性・探求心豊かな技術者を育成します。

Curriculum

科目 区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必 修 科 目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	メカトロニクス入門	1	1					
	機械製図Ⅰ	1	1					
	機械製図Ⅱ	2	2					
	情報処理	1		1				
	CAD工学	1		1				
	製造と加工Ⅰ	1		1				
	製造と加工Ⅱ	1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1		1				
	基礎材料工学Ⅱ	1		1				
	メカトロニクスⅠ	1		1				
	機械実習Ⅰ	2		2				
	機械設計Ⅰ	2			2			
	機械設計Ⅱ	2			2			
	材料力学Ⅰ	1			1			
	工業力学Ⅰ	1			1			
	工業力学Ⅱ	1			1			
	熱力学Ⅰ	1			1			
	流体工学Ⅰ	1			1			
	機械実習Ⅱ	2			2			
	機械実習Ⅲ	2			2			
	応用物理	1			1			
	応用数学Ⅰ	1			1			
	機械実験Ⅰ	2				2		
	機械実験Ⅱ	2				2		
	メカトロニクスⅡ	1				1		
	基礎研究	2				2		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	プログラミング	1				1		
	設計制御Ⅰ	2				2		
	設計制御Ⅱ	2				2		
	材料力学Ⅱ	1				1		
	材料力学Ⅲ	2				2		
	機構学	2				2		
	機械力学	2				2		
	計測制御	2				2		
	熱力学Ⅱ	2				2		
	流体工学Ⅱ	2				2		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	2				2		
	卒業研究	12					12	
	計	72	6	9	15	30	12	
選 択 科 目	インターンシップ	2				2		
	機械システム工学特論	1					1	
	数値解法	2					2	
	生産管理	2					2	
	材料強度学	2					2	
	強度設計	2					2	
	材料工学	2					2	
	振動工学	2					2	
	制御工学	2					2	
	伝熱工学	2					2	
	エネルギー機械	2					2	
	機械工学英語	1					1	
	修得すべき単位数	82単位以上						

ロボット、情報システムからエネルギーまで —未来を支え創造するエンジニアに—

電気、電子や情報通信分野を基礎から先端技術までバランスよく学び、実験・実習を通して、それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた実践的技術者を育成します。

卒業後は電気技術者・情報技術者、または、それらを融合したロボットや人工知能などを開発する技術者など社会を支え、人の暮らしを豊かにするスペシャリストとしての活躍が期待されます。



電気制御システム工学科

教育目標

電気工学、電子工学やコンピュータ、情報処理に関連する技術を総合的に学び、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

エネルギーや情報通信など幅広い分野で社会を支えるシステム開発ができる技術者を育成します。

ロボットや人工知能など先端かつ融合的分野で人の暮らしに役立つ情報システム作りができる技術者を育成します。

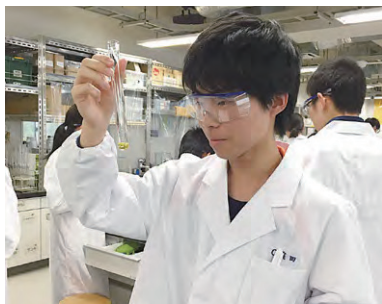
Curriculum

科目 区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	電気電子基礎	2	2					
	情報処理Ⅰ	1	1					
	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	電気電子基礎工学実験	3	3					
	基礎電気工学	1		1				
	電気回路Ⅰ	1		1				
	電気磁気学Ⅰ	1		1				
	情報処理Ⅱ	1		1				
	プログラミング学Ⅰ	1		1				
	環境・エネルギー実習	1		1				
	電気電子工学実験	2		2				
	電気回路Ⅱ	1			1			
	電気磁気学Ⅱ	1			1			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1			1			
	設計製図Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅲ	1			1			
	電気磁気学Ⅲ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	プログラミング学Ⅲ	1			1			
	情報システム実習	2			2			
	システム工学実験Ⅰ	2			2			
	電気回路Ⅳ	2				2		
	電気磁気学Ⅳ	2				2		
	制御工学Ⅰ	2				2		
	電子工学	2				2		
	技術者倫理	1				1		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	システム工学実験Ⅱ	2				2		
	システム工学実験Ⅲ	2				2		
	基礎研究	1				1		
	卒業研究	12					12	
	計	57	8	8	13	16	12	
選択科目	設計製図Ⅰ	1		1				
	プログラミング学Ⅱ	1		1				
	エネルギー力学	1			1			
	ロボット力学	1			1			
	信号処理工学Ⅰ	1			1			
	電気機械Ⅰ	1				1		
	信号処理工学Ⅱ	1				1		
	計測工学Ⅰ	1				1		
	ロボティクス設計	1				1		
	情報システム設計	1				1		
	電気工学特講	2				2		
	制御工学Ⅱ	2				2		
	電気機械Ⅱ	1				1		
	応用物理	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用数学Ⅲ	1				1		
	AI・機械学習論	1				1		
	インターンシップ	2				2		
	システム工学	2					2	
	電力システム論Ⅰ	1					1	
	ロボット工学Ⅰ	2					2	
	情報システム工学	2					2	
	計測工学Ⅱ	1					1	
	電気材料	2					2	
	電力システム論Ⅱ	1					1	
	ロボット工学Ⅱ	2					2	
	情報通信工学	2					2	
	電気法規・施設管理	1					1	
	AI実践	1					1	
	修得すべき単位数	82単位以上						

化学のおもしろさと出会いながら、 実験を通して確かな技術と知識を

物質の組成・構造・変化について理解し、化学的・生物化学的に物質を製造する技術者を養成することを目的としています。主に講義と実験の2本立てで授業を行うことで、確かな知識と基礎的技術が学べます。

さらにナノマテリアル・生命科学・環境技術等の最先端の知識と技術を習得することにより、化学・医薬品工学分野で活躍できる技術者としての未来が開けます。



物質化学工学科

教育目標

化学を基礎として、機能性物質・材料、環境科学、生物化学などの幅広い分野及び最先端技術に関する知識・技術を備え、生涯にわたり最前線で活躍する技術者を育成します。

多様な考え方を理解する幅広い教養を有し、専門知識から新たな物質・材料や新技術を創り出すための判断力と実行力、技術者倫理を備えた創造的な技術者を育成します。

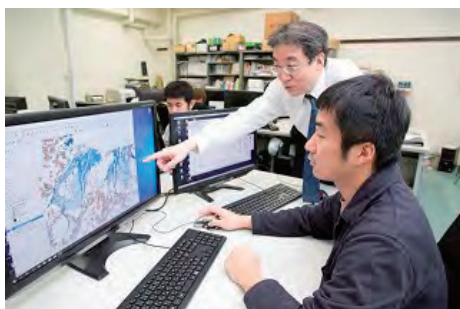
化学品・医薬品工業をはじめとする地域の重要産業の発展、さらには環日本海地域及び世界の持続的な発展に貢献できる技術者を育成します。

Curriculum

科目 区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	物質化学基礎実験	3	3					
	情報・技術者倫理入門	1	1					
	分析化学実験	3		3				
	有機化学Ⅰ	1		1				
	有機化学Ⅱ	1		1				
	無機化学Ⅰ	2		2				
	分析化学Ⅰ	1		1				
	生物学	1		1				
	有機化学実験	2			2			
	無機化学実験	2			2			
	特別実験	1			1			
	有機化学Ⅲ	1			1			
	分析化学Ⅱ	1			1			
	基礎化学工学	2			2			
	基礎生物化学	2			2			
	物理化学Ⅰ	2			2			
	情報処理Ⅱ	1			1			
	物理化学実験	2				2		
	化学工学実験	2				2		
	生物化学実験	2				2		
	基礎研究	1				1		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	化学工学Ⅰ	1				1		
	化学工学Ⅱ	1				1		
	生物化学Ⅰ	1				1		
	生物化学Ⅱ	1				1		
	物理化学Ⅱ	1				1		
	機器分析Ⅰ	1				1		
	高分子化学Ⅰ	1				1		
	分子生物学	1				1		
	機器分析実験	2					2	
	環境科学	2					2	
	卒業研究	12					12	
	計	62	6	9	14	17	16	
選択科目	情報処理Ⅰ	1		1				
	無機化学Ⅱ	1			1			
	無機化学Ⅲ	1			1			
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	応用物理Ⅰ	1				1		
	応用物理Ⅱ	1				1		
	有機化学Ⅳ	2				2		
	有機化学Ⅴ	1				1		
	無機化学Ⅳ	2				2		
	物理化学Ⅲ	1				1		
	材料工学	2				2		
	インターンシップ	2				2		
	反応化学工学	2					2	
	応用物理Ⅲ	2					2	
	工業化学	2					2	
	高分子化学Ⅱ	2					2	
	遺伝子工学	1					1	
	応用微生物学	1					1	
	機器分析Ⅱ	2					2	
	生物有機化学	1					1	
	修得すべき単位数	82単位以上						

電子システムからAI開発まで！ C言語、Java、Pythonはじめ最先端のコンピューター技術を学び、動かし、世界と繋ぐ

ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク・システムについて学び、創造的技術開発に応用できる技術者を育成します。授業では、画像処理、AI開発や電子回路制作、IoTやネットワーク機器のプログラミングなどを実践的に学びます。将来は、情報処理技術者、ネットワーク技術者として様々な分野で活躍できます。



電子情報工学科 教育目標

アプリケーションからAIまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

ネットワークを活用してシステム設計ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目 区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修科目	電子情報工学実験ⅠA	2	2					
	電子情報工学実験ⅠB	2	2					
	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	電子情報基礎	1	1					
	基礎電気Ⅰ	1		1				
	基礎電気Ⅱ	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	プログラミングⅡ	1		1				
	電子情報工学実験ⅡA	2		2				
	電子情報工学実験ⅡB	2		2				
	電子情報数学Ⅲ	1			1			
	コンピュータシステムⅢ	1			1			
	電子情報工学実験ⅢA	2			2			
	電子情報工学実験ⅢB	2			2			
	電子情報工学実験Ⅳ	2				2		
	基礎研究	1				1		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	創造工学設計Ⅱ	2				2		
	卒業研究	12					12	
	計	40	7	8	6	7	12	
選択科目	コンピュータシステムⅠ	1		1				
	コンピュータシステムⅡ	1		1				
	電子情報数学Ⅰ	1		1				
	電気回路Ⅰ	1			1			
	電気回路Ⅱ	1			1			
	電子回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅱ	1			1			
	プログラミングⅢ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ	1			1			
	電子情報数学Ⅱ	1			1			
	応用物理Ⅰ	1			1			
	応用物理Ⅱ	1			1			
	電気回路Ⅲ	1				1		
	制御工学	1				1		
	電気磁気学Ⅰ	1				1		
	電気磁気学Ⅱ	1				1		
	電子回路Ⅲ	1				1		
	センサ工学	1				1		
	応用数学Ⅰ	1				1		
	応用数学Ⅱ	1				1		
	通信システム	2				2		
	オペレーティングシステム	2				2		
	数値計算	1				1		
	情報理論	1				1		
	創造工学設計Ⅰ	2				2		
	応用物理Ⅲ	2				2		
	インターンシップ	2				2		
	電子システム	1					1	
	コンピュータ計測	1					1	
	電気電子回路	2					2	
	電波工学	1					1	
	デジタル信号処理	2					2	
	情報ネットワーク	2					2	
	メディア工学Ⅰ	1					1	
	メディア工学Ⅱ	1					1	
	ソフトウェア工学	2					2	
	計算工学	2					2	
	離散数学	1					1	
	応用数学Ⅲ	2					2	
	応用数学Ⅳ	2					2	
	技術英語	1					1	
	修得すべき単位数	82単位以上						

富山から環日本海へ、そして世界へ 外国語とビジネスの知識を駆使するグローバル な人材を育てる

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語や環日本海諸国語という、2つの“使える外国語能力”と異文化への寛容性を身につけ、ビジネスに関する専門的な知識を学びます。さまざまな情報を統合して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、環日本海交流の拠点を目指す富山県を中心として、国際的に活躍し、地域社会や地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成します。



国際ビジネス学科 教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身に付け、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・ロシア語）が使える語学力を身に付けたビジネスパーソンを育成します。

Curriculum

科目 区分	授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修 科目	データサイエンスⅠ	1	1					
	データサイエンスⅡ	1	1					
	商学概論Ⅰ	1	1					
	商学概論Ⅱ	1	1					
	会計学概論Ⅰ	1		1				
	会計学概論Ⅱ	1		1				
	経済学概論Ⅰ	1		1				
	経済学概論Ⅱ	1		1				
	経営管理論Ⅰ	1			1			
	経営管理論Ⅱ	1			1			
	法学概論Ⅰ	1			1			
	法学概論Ⅱ	1			1			
	英語演習Ⅰ	1			1			
	英語演習Ⅱ	1			1			
	環日本海諸国語演習Ⅰ（中国語）※	1			1			
	環日本海諸国語演習Ⅰ（ロシア語）※	1			1			
	環日本海諸国語演習Ⅱ（中国語）※	1			1			
	環日本海諸国語演習Ⅱ（ロシア語）※	1			1			
	ビジネスゼミナールⅠ	1				1		
	ビジネスゼミナールⅡ	1				1		
	AI・MOTⅠ	1				1		
	AI・MOTⅡ	1				1		
	経営組織論Ⅰ	1				1		
	経営組織論Ⅱ	1				1		
	民法Ⅰ	1				1		
	卒業研究	12						
	計	35	4	4	8	7	12	
選択 科目	情報基礎Ⅰ	1	1					
	情報基礎Ⅱ	1	1					
	物流概論Ⅰ	1		1				
	物流概論Ⅱ	1		1				
	情報基礎Ⅲ	1		1				
	情報基礎Ⅳ	1		1				
	原価企画論Ⅰ	1			1			
	原価企画論Ⅱ	1			1			
	管理会計論Ⅰ	1			1			
	管理会計論Ⅱ	1			1			
	環日本海社会経済史Ⅰ	1			1			
	環日本海社会経済史Ⅱ	1			1			
	民法Ⅱ	1				1		
	経営情報Ⅰ	1				1		
	経営情報Ⅱ	1				1		
	マーケティング論	2				2		
	物流管理論	2				2		
	流通論	2				2		
	環日本海社会経済史Ⅲ	1				1		
	環日本海社会経済史Ⅳ	1				1		
	ビジネス英語	2				2		
	時事英語講読	2				2		
	環日本海諸国語演習Ⅲ（中国語）	2				2		
	環日本海諸国語演習Ⅲ（ロシア語）	2				2		
	環日本海諸国語表現Ⅰ（中国語）	2				2		
	環日本海諸国語表現Ⅰ（ロシア語）	2				2		
	環日本海諸国語表現Ⅱ（中国語）	2				2		
	環日本海諸国語表現Ⅱ（ロシア語）	2				2		
	環日本海諸国語表現Ⅲ（中国語）	2				2		
	環日本海諸国語表現Ⅲ（ロシア語）	2				2		
	経営戦略論Ⅰ	1					1	
	経営戦略論Ⅱ	1					1	
	マーケティング戦略論	2					2	
	国際ビジネス論	2					2	
	データベース論	2					2	
	雇用関係法Ⅰ	1					1	
	雇用関係法Ⅱ	1					1	
	国際関係概論	2					2	
	国際物流論	2					2	
	金融論	2					2	
	異文化コミュニケーション論	2					2	
	ビジネス英語演習Ⅰ	1					1	
	ビジネス英語演習Ⅱ	1					1	
	ビジネス環日本海諸国語（中国語）	2					2	
	ビジネス環日本海諸国語（ロシア語）	2					2	
	英語圏異文化実習	3			3			
	環日本海諸国異文化実習	3				3		
	インターシップ	2				2		
	修得すべき単位数	82単位以上						

※環日本海諸国語演習については、中国語あるいはロシア語のいずれかの言語を選択する。

活躍の舞台は大海原 世界の海で人々の暮らしを支える

「航海コース」と「機関コース」からなる複合学科で、海や船に関する様々な知識や技術について学び、世界で活躍する船舶職員（航海士や機関士）を目指します。教室での授業のほか、シミュレータや本校練習船での実習によって、船舶運航の理論や基礎技術を学びます。また、のべ1年間の大型練習船実習では、実践的な技術を身につけながら、日本各地や海外にも寄港します。なお、修業年限は5年6か月となります。



商船学科 教育目標

船舶の運航や船用プラント運用に必要なシーマンシップを身に付けたグローバルな海技士を育成します。

海洋をフィールドとしてシステムの開発・構築・管理ができる技術者を育成します。

海洋環境を地球規模の視点で考えられるスペシャリストを育成します。

Curriculum

科目区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
航海・機関 共通科目	必修科目	データサイエンスⅠ	1	1					
		データサイエンスⅡ	1	1					
		機関概論A	1	1					
		機関概論B	1	1					
		海洋基礎実習	1	1					
		航海概論A	1	1					
		校内練習船実習A	1	1					
		航海概論B	1		1				
		電気・電子工学A	1		1				
		電気・電子工学B	1		1				
		船舶基礎力学A	1		1				
		船舶基礎力学B	1		1				
		キャリアデザイン	1		1				
		校内練習船実習B	1		1				
		船舶安全学A	1			1			
		船舶安全学B	1			1			
		電気・電子工学C	1			1			
		電気・電子工学D	1			1			
		AI・MOTⅠ	1				1		
		船舶海洋工学	2				2		
		海事法A	1				1		
		海事応用数学	2				2		
		計測制御工学	2					2	
		流体力学	2					2	
		海事法B	1					1	
		計	29	7	7	4	6	5	
	選択科目	インターンシップ	2				2		
		国際海事実習	3			3			
航海コース	必修科目	運用概論A	1			1			
		運用概論B	1			1			
		航海測位論A	1			1			
		航海測位論B	1			1			
		船体管理論A	1			1			
		船体管理論B	1			1			
		航海学ゼミナールA	1			1			
		航法機器A	1			1			
		航海英語A	1			1			
		実験実習A（航海）	4			4			
		校内練習船実習C（航海）	1			1			
		航海測位論C	2				2		
		海上交通法	2				2		
		航海英語B	1				1		
		航海情報システム演習	1				1		
		航海学ゼミナールB	1				1		
		実験実習B（航海）	2				2		
		航法機器B	2					2	
		船体運動学	2					2	
		海洋気象学	2					2	
		海上運送論	2					2	
		海洋科学	1					1	
		実験実習C（航海）	2					2	
		卒業研究（航海）	7					7	
		校内練習船実習D（航海）	1					1	
		計	42	0	0	14	9	19	
	選択	海事政策論	1					1	
機関コース	必修科目	機械加工実習	2			2			
		内燃機関工学A	1			1			
		内燃機関工学B	1			1			
		工業熱力学A	1			1			
		工業熱力学B	1			1			
		材料力学A	1			1			
		材料力学B	1			1			
		機関英語A	1			1			
		実験実習A（機関）	4			4			
		校内練習船実習C（機関）	1			1			
		内燃機関学	2				2		
		蒸気工学	1				1		
		電機システム	2				2		
		設計製図A	1				1		
		機関学ゼミナール	1				1		
		実験実習B（機関）	2				2		
		蒸気・ガスタービン	2					2	
		船用補助機械工学	2					2	
		材料学	2					2	
		設計製図B	2					2	
		機関英語B	1					1	
		実験実習C（機関）	2					2	
		卒業研究（機関）	7					7	
		校内練習船実習D（機関）	1					1	
		計	42	0	0	14	9	19	
	選択	商船運航実務	1					1	
		修得すべき単位数	62単位以上						



一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

Curriculum

機械システム工学科・電気制御システム工学科

科目 区分		授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	人文・社会	総合国語ⅠA	2	2						
		総合国語ⅠB	1	1						
		総合国語ⅡA	1		1					
		地理	2	2						
		歴史Ⅱ	2			2				
	自然科学	公共社会論	1				1			
		基礎数学AⅠ	2	2						
		基礎数学AⅡ	2	2						
		基礎数学BⅠ	1	1						
		基礎数学BⅡ	1	1						
		基礎数学C	1	1						
		微分積分学Ⅰ	2		2					
		微分積分学Ⅱ	2		2					
		線形代数Ⅰ	1		1					
		線形代数Ⅱ	1		1					
		解析学Ⅰ	2			2				
		解析学Ⅱ	2			2				
		総合数学	1			1				
		確率と統計	1			1				
		物理学ⅠA	1	1						
		物理学ⅠB	1	1						
		物理学ⅡA	1		1					
		物理学ⅡB	1		1					
		物理学Ⅲ	1			1				
		化学ⅠA	1	1						
	化学ⅠB	1	1							
	化学ⅡA	1		1						
	外国語	総合英語Ⅰ	3	3						
		総合英語Ⅱ	3		3					
		英語表現Ⅰ	2	2						
		英語表現Ⅱ	2		2					
		英会話Ⅰ	1	1						
		英会話Ⅱ	1		1					
	計		48	22	16	9	1	0		
	選択科目	人文・社会	総合国語ⅡB	1		1				
			総合国語ⅢA	1			1			
総合国語ⅢB			1			1				
国語表現			1				1			
日本語と文化			2					2		
歴史Ⅰ			2		2					
比較社会文化論			1				1			
思想文化論			1				1			
現代産業論			1				1			
自然		数学特講	1				1			
		化学ⅡB	1		1					
保健・体育		保健	1	1						
		体育Ⅰ	2	2						
		体育Ⅱ	2		2					
		体育Ⅲ	2			2				
		体育Ⅳ	1				1			
芸術		体育Ⅴ	1					1		
		音楽	1	1						
		美術	1	1						
外国語		書道	1	1						
		総合英語Ⅲ	2			2				
		総合英語Ⅳ	2				2			
		総合英語Ⅴ	2				2			
		総合英語Ⅵ	2					2		
		英語表現Ⅲ	2			2				
		英語演習Ⅰ	2				2			
その他	英語演習Ⅱ	2				2				
	英語圏異文化実習	3				3				
修得すべき単位数			75単位以上							

Curriculum

物質化学工学科

科目 区分		授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備考	
				1年	2年	3年	4年	5年		
必修科目	人文・社会	総合国語ⅠA	2	2						
		総合国語ⅠB	1	1						
		総合国語ⅡA	1		1					
		地理	2	2						
		歴史Ⅱ	2			2				
		公共社会論	1				1			
	自然科学	基礎数学AⅠ	2	2						
		基礎数学AⅡ	2	2						
		基礎数学BⅠ	1	1						
		基礎数学BⅡ	1	1						
		基礎数学C	1	1						
		微分積分学Ⅰ	2		2					
		微分積分学Ⅱ	2		2					
		線形代数Ⅰ	1		1					
		線形代数Ⅱ	1		1					
		解析学Ⅰ	2			2				
		解析学Ⅱ	2			2				
		総合数学	1			1				
		確率と統計	1			1				
		物理学ⅠA	1	1						
		物理学ⅠB	1	1						
		物理学ⅡA	1		1					
		物理学ⅡB	1		1					
		物理学Ⅲ	1			1				
		化学ⅠA	2	2						
	化学ⅠB	1	1							
	化学ⅡA	1		1						
	化学ⅡB	1		1						
	外国語	総合英語Ⅰ	3	3						
		総合英語Ⅱ	3		3					
		英語表現Ⅰ	2	2						
		英語表現Ⅱ	2		2					
		英会話Ⅰ	1	1						
		英会話Ⅱ	1		1					
		計	50	23	17	9	1	0		
	選択科目	人文・社会	総合国語ⅡB	1		1				
			総合国語ⅢA	1			1			
			総合国語ⅢB	1			1			
			国語表現	1				1		
			日本語と文化	2					2	
歴史Ⅰ			2		2					
比較社会文化論			1				1			
思想文化論			1				1			
現代産業論			1				1			
自然		数学特講	1				1			
保健・体育		保健	1	1						
		体育Ⅰ	2	2						
		体育Ⅱ	2		2					
		体育Ⅲ	2			2				
		体育Ⅳ	1				1			
		体育Ⅴ	1					1		
芸術		音楽	1	1						
		美術	1	1						
		書道	1	1						
外国語		総合英語Ⅲ	2			2				
		総合英語Ⅳ	2				2			
		総合英語Ⅴ	2				2			
		総合英語Ⅵ	2					2		
		英語表現Ⅲ	2			2				
		英語演習Ⅰ	2				2			
		英語演習Ⅱ	2				2			
その他	英語圏異文化実習	3				3				
修得すべき単位数			75単位以上							

Curriculum

電子情報工学科

科目 区分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合国語ⅠA1	1	1					
	総合国語ⅠA2	1	1					
	総合国語ⅠB	1	1					
	総合国語ⅡA	1		1				
	総合国語ⅡB	1		1				
	総合国語ⅢB	1			1			
	国語表現	1				1		
	地理	2	2					
	歴史Ⅰ	2		2				
	歴史Ⅱ	2			2			
	公共社会論	1				1		
	基礎数学AⅠ	2	2					
	基礎数学AⅡ	2	2					
	基礎数学BⅠ	1	1					
	基礎数学BⅡ	1	1					
	基礎数学C	1	1					
	微分積分学Ⅰ	2		2				
	微分積分学Ⅱ	2		2				
	線形代数Ⅰ	1		1				
	線形代数Ⅱ	1		1				
	解析学Ⅰ	2			2			
	解析学Ⅱ	2			2			
	総合数学	1			1			
	確率と統計	1			1			
	物理学ⅠA	1	1					
	物理学ⅠB	1	1					
	物理学ⅡA	1		1				
	物理学ⅡB	1		1				
	物理学Ⅲ	1			1			
	化学ⅠA	1	1					
	化学ⅠB	1	1					
	化学ⅡA	1		1				
	化学ⅡB	1		1				
	基礎科学実験	1		1				
	保健	1	1					
	体育Ⅰ	2	2					
	体育Ⅱ	2		2				
	体育Ⅲ	2			2			
	総合英語Ⅰ	3	3					
	総合英語Ⅱ	3		3				
	総合英語Ⅲ	2			2			
	総合英語Ⅳ	2				2		
	英語表現Ⅰ	2	2					
	英語表現Ⅱ	2		2				
	英語表現Ⅲ	2			2			
	英会話Ⅰ	1	1					
	英会話Ⅱ	1		1				
	計	68	25	23	16	4	0	
選択科目	総合国語ⅢA	1			1			
	日本語と文化	2					2	
	比較社会文化論	1				1		
	思想文化論	1				1		
	現代産業論	1				1		
	数学特講Ⅰ	1				1		
	数学特講Ⅱ	1				1		
	体育Ⅳ	1				1		
	体育Ⅴ	1					1	
	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
	総合英語Ⅴ	2				2		
	総合英語Ⅵ	2					2	
	英語演習Ⅰ	2				2		
	英語演習Ⅱ	2				2		
	環日本海諸国語Ⅰ（中国語）	1				1		
外国語	環日本海諸国語Ⅰ（ロシア語）	1				1		
	環日本海諸国語Ⅱ（中国語）	1				1		
	環日本海諸国語Ⅱ（ロシア語）	1				1		
	英語圏異文化実習	3				3		
	修得すべき単位数	75単位以上						

Curriculum

商船学科

科目 区分	授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	総合国語ⅠA1	1	1					
	総合国語ⅠA2	1	1					
	総合国語ⅠB	1	1					
	総合国語ⅡA	1		1				
	総合国語ⅡB	1		1				
	総合国語ⅢB	1			1			
	国語表現	1				1		
	地理	2	2					
	歴史Ⅰ	2		2				
	歴史Ⅱ	2			2			
	公共社会論	1				1		
	基礎数学AⅠ	2	2					
	基礎数学AⅡ	2	2					
	基礎数学BⅠ	1	1					
	基礎数学BⅡ	1	1					
	微分積分学Ⅰ	2		2				
	微分積分学Ⅱ	2		2				
	線形代数Ⅰ	1		1				
	線形代数Ⅱ	1		1				
	解析学Ⅰ	2			2			
	解析学Ⅱ	2			2			
	総合数学	1			1			
	確率と統計	1			1			
	物理学ⅠA	1	1					
	物理学ⅠB	1	1					
	物理学ⅡA	1		1				
	物理学ⅡB	1		1				
	物理学Ⅲ	1			1			
	化学ⅠA	1	1					
	化学ⅠB	1	1					
	化学ⅡA	1		1				
	化学ⅡB	1		1				
	基礎科学実験	1		1				
	保健	1	1					
	体育Ⅰ	2	2					
	体育Ⅱ	2		2				
	体育Ⅲ	2			2			
	総合英語Ⅰ	3	3					
	総合英語Ⅱ	3		3				
	総合英語Ⅲ	2			2			
	総合英語Ⅳ	2				2		
	英語表現Ⅰ	2	2					
	英語表現Ⅱ	2		2				
	英語表現Ⅲ	2			2			
	英会話Ⅰ	1	1					
	英会話Ⅱ	1		1				
	計	67	24	23	16	4	0	
選択科目	総合国語ⅢA	1			1			
	日本語と文化	2					2	
	比較社会文化論	1					1	
	思想文化論	1					1	
	現代産業論	1					1	
	体育Ⅳ	1				1		
	体育Ⅴ	1					1	
	音楽	1	1					
	美術	1	1					
	書道	1	1					
	総合英語Ⅴ	2					2	
	総合英語Ⅵ	2					2	
	英語演習Ⅰ	2					2	
	英語演習Ⅱ	2					2	
	環日本海諸国語Ⅰ（中国語）	1					1	
	環日本海諸国語Ⅰ（ロシア語）	1					1	
	環日本海諸国語Ⅱ（中国語）	1					1	
外国語	環日本海諸国語Ⅱ（ロシア語）	1					1	
	英語圏異文化実習	3				3		
	修得すべき単位数	75単位以上						

科目区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当					備 考	
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年		
必修科目	人文・社会	総合国語ⅠA1	1	1						
		総合国語ⅠA2	1	1						
		総合国語ⅠB	1	1						
		総合国語ⅡA	1		1					
		総合国語ⅡB	1		1					
		総合国語ⅢB	1			1				
		国語表現	1				1			
		地理	2	2						
		歴史Ⅰ	2		2					
		歴史Ⅱ	2			2				
	公共社会論	1				1				
	自然	数学ⅠA	1	1						
		数学ⅠB	1	1						
		数学ⅡA	1		1					
		数学ⅡB	1		1					
		数学ⅢA	1			1				
		数学ⅢB	1			1				
		理科ⅠA	1	1						
		理科ⅠB	1	1						
		理科ⅡA	1		1					
	理科ⅡB	1		1						
	保・体	保健	1	1						
		体育Ⅰ	2	2						
		体育Ⅱ	2		2					
	外国語	体育Ⅲ	2			2				
		総合英語Ⅰ	2	2						
		総合英語Ⅱ	2		2					
		総合英語Ⅲ	2			2				
		英語表現Ⅰ	2	2						
		英語表現Ⅱ	2		2					
		英会話ⅠA	2	2						
		英会話ⅠB	2	2						
		英会話ⅡA	2		2					
		英会話ⅡB	2		2					
		英会話Ⅲ	2			2				
		環日本海諸国語ⅠA(中国語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅠB(中国語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅠA(ロシア語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅠB(ロシア語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅡA(中国語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅡB(中国語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅡA(ロシア語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅡB(ロシア語)※	1	1						
		環日本海諸国語ⅢA(中国語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅢB(中国語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅢA(ロシア語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅢB(ロシア語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅣA(中国語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅣB(中国語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅣA(ロシア語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅣB(ロシア語)※	1		1					
		環日本海諸国語ⅤA(中国語)※	1			1				
		環日本海諸国語ⅤB(中国語)※	1			1				
		環日本海諸国語ⅤA(ロシア語)※	1			1				
		環日本海諸国語ⅤB(ロシア語)※	1			1				
		計		61	24	22	13	2	0	
選択科目		人文・社会	総合国語ⅠC	1	1					
			総合国語ⅢA	1			1			
	日本語と文化		2					2		
	比較社会文化論		1				1			
	思想文化論		1				1			
	保・体	現代産業論	1				1			
		体育Ⅳ	1				1			
	芸術	体育Ⅴ	1					1		
		音楽	1	1						
		美術	1	1						
		書道	1	1						
	外国語	総合英語Ⅳ	2				2			
		総合英語Ⅴ	2				2			
		総合英語Ⅵ	2					2		
		英会話Ⅳ	2				2			
		英会話Ⅴ	2				2			
	その他	教養基礎	1				1			
言語学Ⅰ		1			1					
言語学Ⅱ		1			1					
修得すべき単位数		75単位以上								

※環日本海諸国語については、中国語あるいはロシア語のいずれかの言語を選択する。

4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、人文社会系の国際ビジネス学専攻、商船系の海事システム工学専攻から成り、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。



エコデザイン工学専攻

全ての技術は環境に配慮しなければならないという背景のもと、本専攻では、エンジニアに必要な工学全般の基礎知識と優れた技術に関する基礎的能力とともに、環境に配慮した技術、すなわちエコテクノロジーを使う能力を身につけさせ、人・地球との共生の精神を有したグローバルエンジニアとしての役割を理解し、説明できる人材を育成します。

Curriculum

専門科目

区 分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※1				備 考
				1 年		2 年		
				前期	後期	前期	後期	
共 通 科 目		計測・制御	2	2				
		プログラミング工学	2		2			
		生物工学	2				2	
		力学基礎	2		2			
		工学倫理	2			2		
		技術と環境	2			2		
		環境工学	2				2	
		工業数学	2	2				
		MOT入門	2		2			
		インターンシップA	2or3		2or3			
		インターンシップB	2or3		2or3			
		インターンシップC	2or3		2or3			
		エコデザイン工学特論	2				2	
		特別演習	2	2				
		地域産業学	2		2			
		英語ポスター発表	1		1			
	共通科目開設単位計	31～34	6	15～18	4	6		
専 門 科 目	専 攻 科 目	エコデザイン工学特別研究Ⅰ	6	3	3			
		エコデザイン工学特別研究Ⅱ	8			8		
		材料工学特論	2		2			
		振動工学特論	2	2				
		シミュレーション工学特論	2	2				
		流体工学特論	2	2				
		材料機能システム論	2			2		
		精密加工学	2		2			
		熱工学特論	2		2			
		応用システム特論	2		2			
		生産加工学	2			2		
		数値解析	2			2		
		電気回路特論	2			2		
		ロボット工学特論	2	2				
		知的信号処理特論	2	2				
		エネルギー論	2	2				
		電磁波工学	2		2			
		パワーエレクトロニクス特論	2		2			
		エコ電力システム工学特論	2		2			
		電子物性論	2			2		
		薄膜工学	2				2	
		物理化学特論	2	2				
		無機材料特論	2	2				
		複合材料工学	2	2				
		機能性高分子材料	2		2			
		材料機能特論	2		2			
		エコマテリアル特論	2		2			
		精密有機合成化学	2			2		
		生体物質機能概論	2			2		
		食品化学工学	2				2	
		機器分析論	2				2	
		電磁波工学特論 ※2	2				2	※2
	専攻科目開設単位計	74	21	23	14	16		
		専門科目開設科目単位計	105～108	27	38～41	18	22	
		修 得 単 位	専門科目として54単位以上修得					
		一般・専門科目 開設単位 合計	121～124	31	42～45	24	24	
		一般・専門科目 修得単位 合計	62単位以上修得					

※1 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

※2 制御情報システム工学専攻との合同開講科目

制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結び付けたシステムを設計できるプロフェッショナルエンジニアを育成します。

国際ビジネス学専攻

経営学の高度な専門知識を修得し、実社会で応用できる力を育みます。そのうえで科学的知識とリベラルアーツを基盤に、多様な人々と協働できるコミュニケーション能力を備えた国際的ビジネス人材を育成します。

Curriculum 専門科目

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※1				備 考	
				1 年		2 年			
				前期	後期	前期	後期		
専 門 共 通 科 目	専 門 科 目	技術者倫理・企業倫理	2				2		
		技術英語	2		2				
		応用数学特論	2	2					
		応用物理学特論	2	2					
		数学・物理学演習	2		2				
		国際関係論	2				2		
		情報処理学	2	2					
		生産開発システム	2				2		
		インターンシップA(国内)	2	2					
		インターンシップB(国外)	3	3					
		技術経営(MOT)論	2	2					
		港湾実務	2			2			
		港湾物流	2			2			
		地球科学概論	2				2		
		衝撃工学	2	2					
	地域産業学	2		2					
	専門共通科目開設単位数		33	15	6	4	8		
	専 門 専 攻 科 目	専 門 専 攻 科 目	制御情報システム工学特別研究Ⅰ	6	3	3			
			制御情報システム工学特別演習	3			3		
			制御情報システム工学特別研究Ⅱ	5			5		
			制御情報システム工学実験	4	2	2			
			制御情報システム工学演習	4	2	2			
			オブジェクト指向プログラミング	2		2			
			計測制御システム工学	2		2			
			量子エレクトロニクス	2	2				
			通信工学特論	2	2				
			電磁波工学特論	2				2	
			生体情報工学	2			2		
			計算工学特論	2		2			
			ネットワークシステム工学	2			2		
			知能情報処理工学	2		2			
			電子物性論	2			2		※2
			専門専攻科目開設単位数		42	11	15	9	7
専門科目開設単位数計			75	26	21	13	15		
一般・専門科目単位数計			91	30	23	17	21		
修得単位数合計		62単位以上							

※1 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

※2 エコデザイン工学専攻との合同開講科目

Curriculum 専門科目

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※				備 考	
				1 年		2 年			
				前期	後期	前期	後期		
専 門 共 通 科 目	専 門	技術者倫理・企業倫理	2				2		
		技術英語	2		2				
		応用数学特論	2	2					
		応用物理学特論	2	2					
		数学・物理学演習	2		2				
		国際関係論	2				2		
		情報処理学	2	2					
		技術経営(MO T)論	2	2					
		インターンシップA(国内)	2	2					
		インターンシップB(国外)	3	3					
		生産開発システム	2				2		
		港湾実務	2			2			
		港湾物流	2			2			
		地球科学概論	2				2		
		衝撃工学	2	2					
	地域産業学	2		2					
	専門共通科目開設単位数		33	15	6	4	8		
	科 目	専 門 専 攻 科 目	国際ビジネス学特別研究Ⅰ	8	4	4			
			国際ビジネス学特別演習	4			4		
			国際ビジネス学特別研究Ⅱ	4			4		
			経営管理特論	2	2				
			環日本海ビジネス事情	2	2				
			環日本海ビジネス演習	2		2			
			数理意思決定論	2				2	
			製品開発論	2		2			
			ビジネス会計論	2			2		
			応用情報処理論	2			2		
			商業英語	2		2			
			経営システム分析論	2		2			
			経営システム科学論	2				2	
			地域経営特論	2	2				
			ビジネス創造論	2	2				
	専門専攻科目開設単位数		56	14	20	10	12		
	専門科目開設単位数計		89	29	26	14	20		
	一般・専門科目単位数計		105	33	28	18	26		
	修得単位数合計			62単位以上					

※ 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

海事システム工学専攻

専攻別一般科目

船舶運航及びこれを支える海事技術を深く体系的に学び、船舶や船用機器、物流に関する新しいシステムを創成できる人材を育成します。

Curriculum

専門科目

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※				備 考
				1 年		2 年		
				学期D	学期A	学期B	学期C	
専 門 共 通 科 目	専 門 科 目	技術者倫理・企業倫理	2	2				
		技術英語	2			2		
		応用数学特論	2		2			
		応用物理学特論	2		2			
		数学・物理学演習	2			2		
		国際関係論	2			2		
		情報処理学	2		2			
		生産開発システム	2	2				
		インターンシップA(国内)	2		2			
		インターンシップB(国外)	3		3			
		港湾実務	2				2	
		港湾物流	2				2	
	専 門 科 目	地球科学概論	2	2				
		技術経営(MOT)論	2		2			
		衝撃工学	2		2			
		地域産業学	2	2				
		専門共通科目開設単位数	33	8	15	6	4	
	専 門 専 攻 科 目	海事システム工学特別研究Ⅰ	6	3	3			
		海事システム工学特別演習	3			3		
		海事システム工学特別研究Ⅱ	5				5	
		海事システム工学実験	4	2	2			
		海事システム工学演習	4	2	2			
		船用制御システム	2		2			
		ナビゲーション・システム	2			2		
		輸送機器デザイン	2			2		
		海洋施設環境・情報工学	2			2		
		熱機関工学特論	2	2				
		タービン特論	2		2			
		海事安全学特論	2		2			
		流体力学特論	2		2			
		海上労働法	2			2		
		伝熱工学特論	2	2				
		専門専攻科目開設単位数	42	11	15	11	5	
		専門科目開設単位数計	75	19	30	17	9	
		一般・専門科目単位数計	91	25	34	19	13	
		修得単位数合計		62単位以上				

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※				備 考
				1 年		2 年		
				前期	後期	前期	後期	
エ コ テ ザ ィ ン 工 学 専 攻	一 般 科 目	言語と文化	2				2	
		歴史と文化	2			2		
		思想と文化	2			2		
		環境社会学	2			2		
		英語Ⅰ	2	2				
		英語Ⅱ	2		2			
		英語コミュニケーションⅠ	2	2				
		英語コミュニケーションⅡ	2		2			
		一般科目 開設単位 小計	16	4	4	6	2	
		修 得 単 位	一般科目として8単位以上修得					

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※				備 考
				1 年		2 年		
				前期	後期	前期	後期	
制 御 情 報 シ ス テ ム 工 学 専 攻	一 般 科 目	英語特論Ⅰ	2	2				
		英語特論Ⅱ	2		2			
		応用英語	2		2			
		日本語・日本文学	2				2	
		地域社会研究	2			2		
		健康科学	2				2	
		産業特論	2			2		
		環日本海文化論	2				2	
		一般科目開設単位数	16	2	4	4	6	

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※				備 考
				1 年		2 年		
				前期	後期	前期	後期	
国 際 ビ ジ ネ ス 学 専 攻	一 般 科 目	英語特論Ⅰ	2	2				
		英語特論Ⅱ	2		2			
		応用英語	2		2			
		日本語・日本文学	2				2	
		地域社会研究	2			2		
		健康科学	2				2	
		産業特論	2			2		
		環日本海文化論	2				2	
		一般科目開設単位数	16	2	4	4	6	

区分		授 業 科 目	単 位 数	学 年 別 配 当 ※				備 考
				1 年		2 年		
				学期D	学期A	学期B	学期C	
海 事 シ ス テ ム 工 学 専 攻	一 般 科 目	英語特論Ⅰ	2		2			
		英語特論Ⅱ	2			2		
		応用英語	2	2				
		日本語・日本文学	2	2				
		地域社会研究	2				2	
		健康科学	2	2				
		産業特論	2				2	
		環日本海文化論	2	2				
		一般科目開設単位数	16	8	2	2	4	

※ 科目担当教員が認めた場合に限り、在籍学年と異なる学年に開講される授業科目を履修することができる

5 教員名簿

機械システム工学科

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博 士 (工 学)	井 上 誠 Inoue Makoto	材料工学
教 授	博 士 (工 学)	岡 根 正 樹 Okane Masaki	工業力学Ⅰ、Ⅱ、材料力学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 強度設計
教 授	博 士 (工 学)	坂 本 佳 紀 Sakamoto Yoshinori	AI・MOTⅠ、メカトロニクスⅡ プログラミング、機械システム工学特論
教 授	博 士 (工 学)	白 川 英 観 Shirakawa Hidemi	熱力学Ⅰ、Ⅱ、流体工学Ⅰ、応用数学Ⅰ、Ⅱ 数値解法、伝熱工学
教 授	博 士 (工 学)	吉 川 文 恵 Yoshikawa Fumie	計測制御、エネルギー機械、情報処理 データサイエンスⅡ、機械システム工学特論
准 教 授	博 士 (工 学)	石 黒 農 Ishiguro Minoru	CAD工学、製造と加工Ⅱ メカトロニクスⅠ、AI・MOTⅡ
准 教 授	博 士 (工 学)	喜 多 正 雄 Kita Masao	基礎材料工学Ⅰ、Ⅱ、応用物理
准 教 授	博 士 (工 学)	田 尻 智 紀 Tajiri Tomoki	メカトロニクスⅠ、応用数学Ⅲ、設計制御Ⅰ 機構学、制御工学、計測制御
准 教 授	修 士 (工 学)	増 山 圭 一 Masuyama Keiichi	材料強度学、機械製図Ⅰ、Ⅱ
准 教 授	博 士 (工 学)	山 本 久 嗣 Yamamoto Hisashi	データサイエンスⅠ、流体工学Ⅱ
助 教	博 士 (工 学)	趙 巍 Zhao Wei	振動工学、機械力学、機械工学英語
助 教	修 士 (工 学)	畠 山 潤 平 Hatakeyama Jumpei	設計制御Ⅱ、生産管理、メカトロニクスⅡ
嘱 託 教 授	博 士 (工 学)	佐 瀬 直 樹 Sase Naoki	メカトロニクス入門、機械設計Ⅰ 製造と加工Ⅰ
嘱 託 教 授	博 士 (工 学)	高 橋 勝 彦 Takahashi Katsuhiko	機械設計Ⅱ

電気制御システム工学科

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博士 (情報科学)	石 田 文 彦 Ishida Fumihiko	データサイエンスⅠ、AI・MOTⅠ、Ⅱ、AI実践 環境・エネルギー実習、情報システム工学
教 授	博 士 (工 学)	佐 藤 圭 祐 Sato Keisuke	電気電子基礎、情報処理Ⅱ 電気機械Ⅰ、Ⅱ、電力システム論Ⅱ
教 授	博 士 (工 学)	高 田 英 治 Takada Eiji	電気電子基礎、計測工学Ⅰ、Ⅱ システム工学
教 授	修 士 (工 学)	古 川 裕 人 Furukawa Hiroto	電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、電子回路Ⅰ 基礎電気工学、電気法規・施設管理
教 授	博 士 (工 学)	百 生 登 Momose Noboru	エネルギー力学、電力システム論Ⅰ 計測工学Ⅱ、制御工学Ⅱ、ロボット工学Ⅰ、Ⅱ
准 教 授	博 士 (工 学)	井 澤 正 樹 Izawa Masaki	設計製図Ⅰ、Ⅱ、ロボット力学 制御工学Ⅰ、応用数学Ⅲ
准 教 授	博 士 (工 学)	金 子 慎 一 郎 Kaneko Shin-ichiro	データサイエンスⅠ、情報処理Ⅰ プログラミング学Ⅰ、Ⅱ、ロボティクス設計

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
准 教 授	博 士（工 学）	北 村 拓 也 Kitamura Takuya	プログラミング学Ⅲ、情報システム設計 AI・機械学習論
准 教 授	博 士（工 学）	多 田 和 広 Tada Kazuhiro	電気磁気学Ⅱ、Ⅲ、電子工学 電気材料
准 教 授	博 士（工 学）	西 島 健 一 Nishijima Ken-ichi	技術者倫理、電気磁気学Ⅳ 電気工学特講
准 教 授	博 士（理 学）	藤 崎 明 広 Fujisaki Akihiro	電気磁気学Ⅰ、信号処理工学Ⅰ 応用数学Ⅰ、Ⅱ、応用物理
助 教	博 士（工 学）	太 田 守 Ota Mamoru	データサイエンスⅡ、電子回路Ⅱ 電気回路Ⅳ、信号処理工学Ⅱ、情報通信工学

物質化学工学科

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博 士（工 学）	河 合 孝 恵 Kawai Takae	物理化学Ⅰ、Ⅲ 情報処理Ⅱ
教 授	博 士（農 学）	篠 崎 由 紀子 Shinozaki Yukiko	分子生物学、応用微生物学 生物学、基礎生物化学、遺伝子工学
教 授	博 士（工 学）	袋 布 昌 幹 Tafu Masamoto	材料工学、環境科学
教 授	博 士（工 学）	中 島 栄 次 Nakajima Eiji	基礎化学工学、反応工学工学、化学工学Ⅰ 情報・技術者倫理入門、データサイエンスⅠ
教 授	博 士（農 学）	峰 本 康 正 Minemoto Yasumasa	化学工学Ⅱ AI・MOTⅠ、応用数学Ⅰ、Ⅱ
准 教 授	博 士（工 学）	迫 野 奈 緒美 Sakono Naomi	無機化学Ⅰ、物理化学Ⅱ データサイエンスⅡ
准 教 授	博 士（工 学）	高 松 さおり Takamatsu Saori	情報・技術者倫理入門、分析化学Ⅰ
准 教 授	博士（マテリアルサイエンス）	福 田 知 博 Fukuda Tomohiro	有機化学Ⅰ、情報処理Ⅰ、AI・MOTⅠ 高分子化学Ⅰ
准 教 授	博 士（工 学）	間 中 淳 Manaka Atsushi	分析化学Ⅱ、無機化学Ⅳ 機器分析Ⅰ
准 教 授	博 士（理 学）	山 岸 正 和 Yamagishi Masakazu	有機化学Ⅱ、無機化学Ⅰ、機器分析Ⅱ データサイエンスⅡ、AI・MOTⅡ
嘱 託 教 授	博 士（薬 学）	後 藤 道 理 Goto Michimasa	生物化学Ⅰ、Ⅱ
嘱 託 教 授	工 学 博 士	高 廣 政 彦 Takahiro Masahiko	材料工学、高分子化学Ⅱ
嘱 託 教 授	博 士（理 学）	津 森 展 子 Tsumori Nobuko	化学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB 無機化学Ⅱ、Ⅲ、工業化学

電子情報工学科

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博 士（理 学）	阿 蘇 司 Aso Tsukasa	プログラミングⅢ、アルゴリズムとデータ構造Ⅰ 通信システム、情報ネットワーク
教 授	博 士（工 学）	小 熊 博 Oguma Hiroshi	通信工学特論、制御工学 ディジタル信号処理
教 授	博 士（工 学）	塚 田 章 Tsukada Akira	電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
教 授	博士（情報科学）	古 山 彰 一 Furuyama Shoichi	創造工学設計Ⅰ、アルゴリズムとデータ構造Ⅱ 数値計算、計算工学
教 授	博 士（工 学）	由 井 四 海 Yoshii Yotsumi	応用物理Ⅰ、Ⅱ、センサ工学 コンピュータ計測
准 教 授	博 士（工 学）	秋 口 俊 輔 Akiguchi Syunsuke	オペレーティングシステム、プログラミングⅡ コンピュータシステムⅠ、Ⅱ、Ⅲ
准 教 授	博 士（工 学）	伊 藤 尚 Ito Nao	応用物理Ⅲ、電子情報数学Ⅱ・Ⅲ 電子システム、電気電子回路
准 教 授	修 士（工 学）	早 勢 欣 和 Hayase Yoshikazu	データサイエンスⅠ、情報理論 ソフトウェア工学、離散数学
准 教 授	博士（情報科学）	的 場 隆 一 Matoba Ryuichi	応用数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ 技術英語、プログラミングⅠ
准 教 授	修 士（工 学）	山 口 晃 史 Yamaguchi Akifumi	基礎電気Ⅰ、Ⅱ、電子情報数学Ⅰ 電子回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、電子情報基礎
講 師	博 士（工 学）	滝 沢 雅 明 Takizawa Masaaki	AI・MOTⅠ、Ⅱ、創造工学設計Ⅱ データサイエンスⅠ、Ⅱ
嘱託教授	博 士（工 学）	水 本 巖 Mizumoto Iwao	電子情報工学実験ⅠB、Ⅳ
嘱託助手	修 士（工 学）	門 村 英 城 Kadomura Hideki	プログラミングⅡ アルゴリズムとデータ構造Ⅰ、Ⅱ
特命教授	博 士（工 学）	椎 名 徹 Shiina Toru	メディア工学Ⅰ、Ⅱ、電波工学 電気磁気学Ⅰ、Ⅱ

国際ビジネス学科

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	修 士（学 術）	海老原 毅 Ebihara Tsuyoshi	環日本海諸国語ⅢA、ⅢB（中国語）、 環日本海諸国語演習Ⅰ、Ⅱ（中国語）、 環日本海諸国語表現Ⅰ、Ⅱ（中国語）、 ビジネス環日本海諸国語（中国語）
教 授	修 士（文 学）	岡 本 勝 規 Okamoto Katsunori	環日本海社会経済史Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ ビジネスゼミナールⅠ、Ⅱ、国際関係概論
教 授	修 士（経済学）	松 原 義 弘 Matsubara Yoshihiro	民法Ⅰ、Ⅱ 雇用関係法Ⅰ、Ⅱ、法学概論Ⅰ、Ⅱ
教 授	博士（言語文化学）	宮 崎 衣 澄 Miyazaki Izumi	環日本海諸国語表現Ⅰ、Ⅱ（ロシア語）、 環日本海諸国語演習Ⅰ、Ⅱ（ロシア語）、 ビジネス環日本海諸国語（ロシア語）
教 授	博 士（学 術）	宮 重 徹 也 Miyashige Tetsuya	経営組織論Ⅰ、Ⅱ、経営戦略論Ⅰ、Ⅱ 経営管理論Ⅰ、Ⅱ
准 教 授	博士（マネジメント）	塩 見 浩 介 Shiomi Kosuke	会計学概論Ⅰ、Ⅱ、管理会計論Ⅰ、Ⅱ 原価企画論Ⅰ、Ⅱ

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
准 教 授	博士（情報科学）	萩 原 信 吾 Hagiwara Shingo	経営情報Ⅰ、Ⅱ、情報基礎Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ AI・MOTⅠ、データサイエンスⅠ、Ⅱ
准 教 授	博 士（工 学）	村 山 雅 子 Murayama Masako	物流概論Ⅰ、Ⅱ、データベース論 物流管理論、国際物流論
講 師	MA（TESOL）	北 井 翔 子 Kitai Shoko	英語演習Ⅰ、Ⅱ、時事英語講読、ビジネス英語 ビジネス英語演習Ⅰ、Ⅱ、異文化コミュニケーション論
講 師	博 士（経済学）	邢 雪 歌 Xing Xuege	経済学概論Ⅰ、Ⅱ 国際ビジネス論、金融論
助 教	学 士（文 学）	田 嶋 雄 太 Tajima Yuta	商学概論Ⅱ、流通論、マーケティング論 マーケティング戦略論、AI・MOTⅡ
嘱 託 教 授	修士（経営情報学）	長谷川 博 Hasegawa Hiroshi	産業特論、国際ビジネス学特別演習 国際ビジネス学特別研究Ⅱ

商船学科

職 名	学 位 等	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博 士（工 学） 三級海技士（航海）	亀 井 志 聖 Kamei Shisei	航海測位論A、船舶安全学A、B 運用概論A、B
教 授	博 士（工 学）	中 谷 俊 彦 Nakatani Toshihiko	航海概論A、B、航法機器A、B 航海英語A
教 授	博 士（工 学）	保 前 友 高 Homae Tomotaka	船舶基礎力学A、B 材料力学A、B
教 授	準 学 士 一級海技士（機関）	松 村 茂 実 Matsumura Shigemi	蒸気・ガスタービン 商船運航実務
教 授	博 士（理 学）	向 瀬 紀一郎 Mukose Kiichiro	船舶海洋工学、キャリアデザイン、データサイエンスⅡ 電機システム、海事応用数学、船舶工学Ⅱ、船体運動学
准 教 授	博 士（工 学） 三級海技士（機関）	経 田 僚 昭 Kyoden Tomoaki	電気・電子工学A、B、キャリアデザイン 工業熱力学A、B、流体力学
准 教 授	博 士（理 学）	福 留 研 一 Fukudome Ken-ichi	海洋気象学、海洋気象論Ⅱ 海洋科学、データサイエンスⅡ、AI・MOTⅠ
准 教 授	博 士（工 学）	山 田 圭 祐 Yamada Keisuke	機関概論A、内燃機関工学A、B 内燃機関学
講 師	学 士（商船学） 一級海技士（機関）	小 林 大 Kobayashi Dai	機関英語A、B、機関概論B データサイエンスⅠ
講 師	博 士（工 学） 三級海技士（航海）	村 田 光 明 Murata Hiroaki	海上交通法、海上交通論Ⅱ、海運論 航海英語A、海事政策論、海上運送論
助 教	博 士（理 学）	清 野 義 敬 Seino Yoshiaki	データサイエンスⅠ、電気・電子工学A、B、C、D 計測・自動制御工学Ⅰ、Ⅱ、計測制御工学
助 教	修 士（海事科学） 一級海技士（航海）	布 目 明 弘 Nunome Akihiro	航海測位論B、C、船体管理論B、海事法A 航海英語B、Ⅱ

練習船若潮丸

職 名	学 位 等	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
船 長・准教授(特任教授)	準 学 士 二級海技士（航海）	金 山 恵 美 Kanayama Emi	校内練習船実習A、B、C、D 海事法B
機関長・准教授(特任教授)	博 士（工 学） 一級海技士（機関）	山 谷 尚 弘 Yamatani Naohiro	校内練習船実習A、B、C、D、蒸気工学 船用補助機械工学
一等航海士・助教	準 学 士 三級海技士（航海）	森 井 直 人 Morii Naoto	運用概論A、B
一等機関士・助教	準 学 士 二級海技士（機関）	池 野 一 成 Ikeno Kazunari	設計製図A、B

一般教養科

〔本郷キャンパス〕

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博 士（学 術）	足 立 繭 子 Adachi Mayuko	国語表現、総合国語ⅡA、ⅡB、ⅢA、ⅢB 日本語と文化
教 授	修 士（文 学）	高 越 義 一 Takagoshi Yoshikazu	総合英語Ⅰ、Ⅵ
教 授	修 士（体育学）	日 比 端 洋 Hibi Naohiro	体育Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ
教 授	文 学 修 士	宮 崎 真 矢 Miyazaki Shinya	地理、公共社会論 現代産業論、思想文化論
教 授	修 士（農 学）	森 田 康 文 Morita Yasufumi	化学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB 生物有機化学、基礎生物化学
准 教 授	修 士（学 術）	紙 谷 智 Kamiya Satoshi	総合英語Ⅱ、英語演習Ⅰ、Ⅱ
准 教 授	修 士（文 学）	河 合 恒 Kawago Hisashi	総合国語ⅠA、ⅠB、ⅢA、ⅢB 日本語と文化
准 教 授	修 士（工 学）	河 原 治 Kawahara Osamu	総合数学、解析学Ⅰ、Ⅱ 基礎数学C
准 教 授	博 士（工 学）	豊 嶋 剛 司 Toshima Takeshi	物理学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、Ⅲ
准 教 授	博 士（史 学）	横 山 恭 子 Yokoyama Kyoko	比較社会文化論、歴史Ⅰ、Ⅱ
講 師	修 士（教育学）	奥 村 直 哉 Okumura Naoya	地理、公共社会論 現代産業論、思想文化論
講 師	博 士（文 学）	陳 璐 Chen Lu	英語表現Ⅱ、総合英語Ⅲ 英語演習Ⅰ、Ⅱ
講 師	修士（スポーツ科学）	中 村 祐太郎 Nakamura Yutaro	体育Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ 保健
助 教	博 士（理 学）	臼 井 聖 人 Usui Masato	基礎数学AⅠ、AⅡ、C 総合数学

【射水キャンパス】

職 名	学 位	氏 名	本 年 度 担 当 科 目
教 授	博 士（理 学）	寺 崎 由紀子 Terasaki Yukiko	化学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB 理科ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB
教 授	修 士（経済学） 修 士（教育学）	横 田 数 弘 Yokota Kazuhiro	歴史Ⅱ、比較社会文化論 現代産業論、公共社会論
准 教 授	博 士（理 学）	大 竹 由記子 Ohtake Yukiko	物理学ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、Ⅲ 線形代数Ⅱ
准 教 授	修 士（体育学）	大 橋 千 里 Ohashi Chisato	体育Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ 保健
准 教 授	修 士（文 学）	近 藤 周 吾 Kondo Shugo	総合国語ⅠA1、ⅠA2、ⅠB、ⅡB、ⅢA、ⅢB 言語学Ⅰ、Ⅱ、国語表現、日本語と文化
准 教 授	博 士（理 学）	櫻 井 秀 人 Sakurai Hideto	基礎数学AⅠ、AⅡ、解析学Ⅰ、Ⅱ、 確率と統計、数学特講Ⅰ、Ⅱ、総合数学
准 教 授	修士（英語教育） MA（ELT）	山 村 啓 人 Yamamura Hiroto	英語演習Ⅰ、Ⅱ、英語表現Ⅰ、Ⅱ 総合英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅵ、教養基礎
准 教 授	修 士（学 術）	山 本 有 希 Yamamoto Yuki	環日本海諸国語Ⅰ、ⅠA、ⅠB、Ⅱ、ⅡA、ⅡB、 ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB、ⅤA、ⅤB（ロシア語） 教養基礎
講 師	修 士（教育学）	大 場 エリザベス Elizabeth Oba	英会話Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB
講 師	教職修士（専門職）	金 本 英 朗 Kanamoto Yoshio	英語表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、総合英語Ⅱ、Ⅳ、Ⅴ 教養基礎
講 師	修 士（教育学）	林 直 人 Hayashi Naoto	体育Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ 教養基礎
講 師	博 士（理 学）	山 下 龍 生 Yamashita Ryusei	解析学Ⅰ、Ⅱ、確率と統計 微分積分学Ⅰ、Ⅱ、基礎数学BⅠ、BⅡ、C
助 教	MA（Applied Linguistics）	内 記 大 地 Naiki Daichi	英語表現Ⅰ、総合英語Ⅰ、Ⅱ
助 教	修 士（文 学）	三 輪 大 樹 Miwa Daiki	総合国語ⅠA2、ⅡA、ⅡB
嘱託教授	博 士（工 学）	星 野 朱 美 Hoshino Akemi	環日本海諸国語ⅠA、ⅠB、ⅡA、ⅡB、ⅣA、 ⅣB、ⅤA、ⅤB(中国語)

6 入試広報センター

現在少子化が社会問題化しており、中学卒業人口も年々減少しています。そのような中、中学生、保護者、中学校教諭及び社会に本校を広く正しく知っていただき、本校志願者数増加及び本校のアドミッションポリシーに合致した入学生をより多く受け入れることを、本センターのミッションとしています。このようなミッションを達成すべく、中学生向け本校紹介パンフレット(カレッジガイド)の作成、夏季・秋季オープンキャンパス、進学個別相談会などの運営、各中学校で開催される高校説明会への参加などを行っています。さらに、本校の活動を広く県内外に知っていただくため、本校ホームページの管理運営などを行っています。また、本校学生及び保護者向けの活動として、高専通信の作成を行っています。



個別進学相談会の様子

7 研究開発共創センター

研究開発共創センターは、これまで本校が進めてきた教職員の研究力向上を通じた教育・地域社会への還元をワンストップで行うことを目的に、令和6年4月に新たに設置されたセンターです。

本校は全国高専でも教職員の研究力に裏付けられた科学研究費(科研費)の採択件数が多く、地域産業との連携で進められている共同研究・委託研究の件数については全国高専トップレベルの実績を有しています。また富山県内のみならず北海道から沖縄まで300をこえる企業等の会員から構成された全国高専最大規模である本校技術振興会の支援のもと、教育研究の高度化の取り組みを進めてきました。

これらはすべて本校の教育の高度化、地域の発展への貢献に資するものであり、本センターではその持続的発展を目的に以下の事業を進めていきます。

- (1) 本校の教職員の研究力向上を、他高専・大学・諸機関との連携で進めていくための取り組み
- (2) 科学研究費のみならず種々の事業などへの積極的な申請支援などを通じた研究の推進に資する研究費の獲得支援
- (3) 日本海側最大規模の工業立県である富山県の地域環境を最大限に活かした、産学・地域連携の強化、協働教育などを通じた教育の高度化への展開
- (4) 産学官コーディネーター、技術振興会のネットワークを活用した、産業界と本校教職員との連携強化
- (5) フォーラム開催などを通じた連携の場の企画・運営
- (6) 研究と教育、社会への貢献を三位一体と捉え、それらの高度化に資する活動



企業訪問による意見交換



とやま KOSEN コラボフォーラム講演の様子

8 国際教育センター

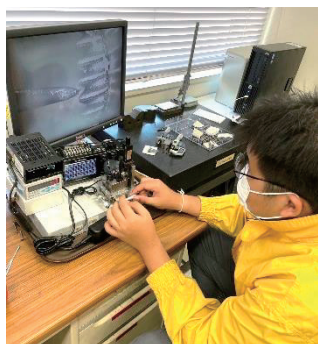
グローバル化によって、これまで築いてきた社会システムも変化を余儀なくされています。日本企業も、内需減少や国際情勢の変化に対応するため、グローバル化を推し進めています。このような情勢の中、経済発展の著しい新興国との間でビジネスを展開することと、未開拓の海外市場を開拓することが当たり前となっているほか、海外での事業所や製造拠点を設置し、運営することが必須となっていることからグローバルな観点での地域社会をリードする人材が求められています。

このような状況を受けて、全国の高専では、従来から取り組んできた創造的な技術者・ビジネスパーソンの育成に加え、国際性を培う教育に傾注してまいりました。この取り組みは、海外の異なる文化を持つ人々を理解し、双方向にコミュニケーションできる人材、協調しつつ自己の主張を明確に行うことのできる人材、持続可能な社会の発展に寄与できるグローバル人材を高専で育てていこうという試みです。もちろん、本校でも、次代のリーダーに相応しい、喫緊の課題に真正面から向き合うことのできる技術者やビジネスパーソンを育成していこうと、さまざまな活動を実施しています。

本校の国際教育センターは、社会的なグローバル人材を育成する活動を支援する拠点組織として整備され、意欲的な取り組みを行っています。特に、世界的視野と国際社会に通用する国際性やコミュニケーション能力を持った学生を育成すること、教職員の国際性向上を図ることを目的に、教育や研究における一層の国際化を推進しています。具体的には、海外からの留学生の受け入れを積極的に行い、学内で異なるバックグラウンドを持つ学生とコミュニケーションできるようにしています。また、日本人学生の語学研修や海外インターンシップへの支援を積極的に行っています。さらに学術交流協定を締結した海外の大学と連携して、学生のみならず教職員を交流できる環境を作り出しています。当センターでは、地域に根ざしつつ、国際的な視野を持った専門性の高い人材の輩出に貢献したいと願っています。



タイ短期留学生のウェルカムパーティー



研究する留学生



研究発表会

9 図書館情報センター

■図書館

図書館は、本郷、射水の両キャンパスにあり、本校学生・教職員の学習・教育・研究を支援しています。

本郷図書館には理学・工学系分野を中心に図書約79,000冊と雑誌約850種を、射水図書館には商船系、電子情報系、国際ビジネス系分野を中心に図書約82,000冊と雑誌約980種を備えています。各分野の専門書だけでなく幅広い分野の読み物や英語多読本、就職・進学のための資格試験問題集、さらにDVD等の視聴覚資料も利用することができます。このほか、学術データベースや電子ジャーナルを学内のパソコン等で利用できるよう整備しています。

また、一般の方々への開放も行っております。

開館日程等

	本郷図書館	射水図書館
学 業 期 間	月曜～金曜 8:30～21:00	月曜～金曜 8:30～19:00
	土曜 10:00～15:00 試験期間中 10:00～17:00	土曜 13:00～17:00
休 業 期 間	月曜～金曜 8:30～17:00	月曜～金曜 8:30～17:00
	土曜 休館	土曜 休館

※令和7年5月1日現在

■情報センター

情報センターは、本郷、射水の両キャンパスに設置されており、情報処理教育の導入から高度な専門教育、教員・学生の研究及び教職員の職務遂行等の支援を行うとともに、ネットワーク環境や情報サービスの提供を行っています。

また、共同利用施設として両キャンパスに合わせて7つの演習室があり、250台を超えるPC端末、学内ネットワーク及び学外ネットワーク（SINET）の管理運営も行っています。

演習室は休憩時間等も開放されており、全学科、全学年の学生が、課題の提出や卒業研究等のためにインターネットや電子メール、アプリケーションソフトの利用が可能です。

本郷キャンパス



図書館閲覧室



第1演習室



図書館情報センター外観

射水キャンパス



図書館閲覧室



第1情報演習室



図書館情報センター外観

10 船舶運航センター

船舶運航センターは、岸壁等施設や舟艇等設備の管理を行う「臨海実習場」と、船員養成のための実習訓練や研究支援、地域連携支援を行う「練習船 若潮丸」からなる組織です。また、富山県および射水市と災害時における被災者救援のための船舶運航についての協定を締結しています。

■ 臨海実習場

敷地面積は11,232平方メートルで、建物として艇庫、臨海合宿研修所、油庫、検潮観測室、設備としてアンテナ塔、天井クレーン、150メートルの専用岸壁（練習船若潮丸を係留）、ポンド、浮桟橋などを備えています。

教育・訓練および研究支援などに利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット部、漕艇部（カッター部）などの課外活動に活用されています。また、地元地域の青少年や市民に開放する公開講座、企業や研究機関などの研究調査にも利用されています。

艇庫には小型舟艇の保管スペース、講義室および技業室が配置され、船舶職員として必要な技能訓練を行うほか、実習・訓練用機材や海洋観測機材を保管し、商船学科の教育・訓練に必要な模型なども陳列しています。



臨海実習場

所在地

〒933-0226 射水市堀江千石6番4

（現在地に平成27年3月13日移転）

射水キャンパスの西方3kmの富山新港（伏木富山新港新港地区）東端の、北陸電力 富山新港火力発電所の東端に位置しています。

臨海実習場の管理舟艇

・らいちょう（電池推進船）

主要寸法 : 全長9.95m 幅2.75m 総トン数6.0トン

速力 : 10.0ノット

最大搭載人員 : 船員2名 その他10名 計12名

就航年月日 : 令和4年5月24日

・その他

（実習艇）

ベガサス 全長6.27m 幅2.31m 総トン数1.3トン

いそなみ 全長5.35m 幅1.77m 総トン数0.5トン

（救助艇）

ちどり 全長3.78m 総トン数0.4トン

・わかしお3号（実習船）

主要寸法 : 全長8.93m 幅2.38m 総トン数2.8トン

連続最大出力 : 170kW

最大搭載人員 : 船員1名 その他8名 計9名

就航年月日 : 令和5年2月22日

（全閉囲型救命艇）

ジュピター 全長5.74m 総トン数3.1トン

（端艇）

9m カッター 3艇

■ 練習船 若潮丸

練習船 若潮丸は大型船と同等の運航システムを装備しており、商船学科学生の船舶職員養成に必要な航海実習を行うだけでなく、海洋気象観測の調査研究や他機関との共同研究を行っています。また、公開講座やオープンキャンパスを開催し、地域の市民の方々や子供たちの航海体験を通して、海の魅力と船舶の安全についての理解を深める活動を行っています。

船側外板のブルーラインは本州を、ブルーの突起が能登半島を意味し、船体中央に本校が位置する構図で船体を印象付けています。

資格 : 近海区域 第4種船
主要寸法 : 全長53.59m 幅10.00m
総トン数 : 231トン
航海速力 : 12.50ノット
航続距離 : 2,700海里
主機関 : 中速ディーゼルエンジン
1,300ps×390rpm 1基
主機プロペラ 4翼可変ピッチ
バウスラスター 1台
スタンスラスター 1台
最大搭載人員 : 乗組員9名 教員3名 学生44名 計56名
竣工年月日 : 平成7年9月14日



練習船 若潮丸

11 学生生活

学校行事

- 4

 - 入学式
 - クラブ紹介
 - 新入生オリエンテーション
- 5

 - 新入生研修会
 - 北斗祭(射水隔年)
 - 球技大会
 - 前期中間試験
- 6

 - 北陸地区高専体育大会
- 7

 - カッターレース大会
 - 前期末試験
- 8

 - 夏季休業(～9月)
 - 全国高専体育大会
- 9

 - 県外工場見学(本郷)
 - 商船学科卒業式
 - 特別登校日(本郷)
- 10

 - 県内工場見学・企業見学(射水)
 - ロボットコンテスト
 - スポーツ大会
- 11

 - 企業研究会
 - 後期中間試験
 - 志峰祭(本郷隔年)
- 12

 - 冬季休業(～1月)
- 1

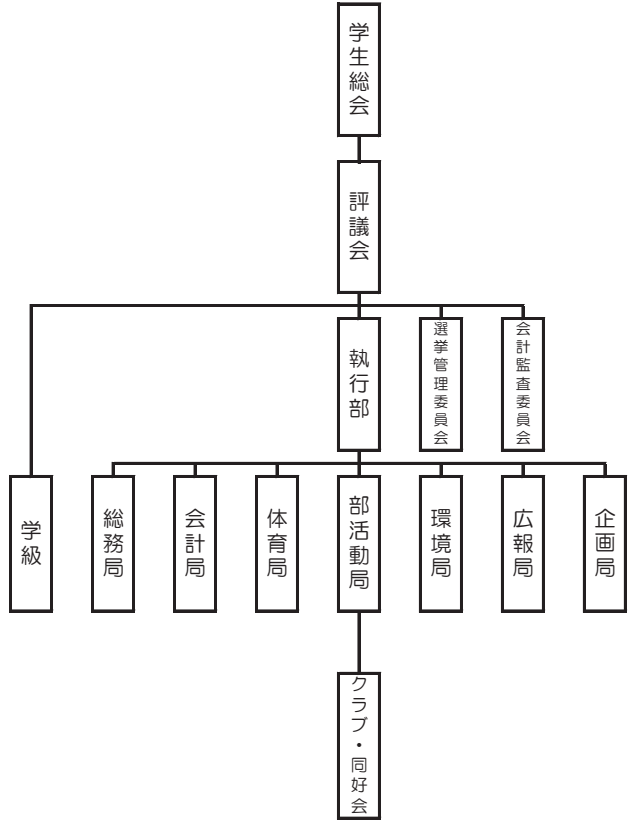
 - 推薦入試
- 2

 - 学力入試
 - 学年末試験
 - 卒業研究発表会
- 3

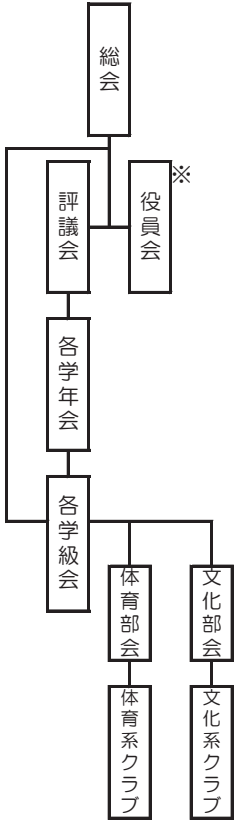
 - 卒業式(商船学科を除く)

学生会組織図

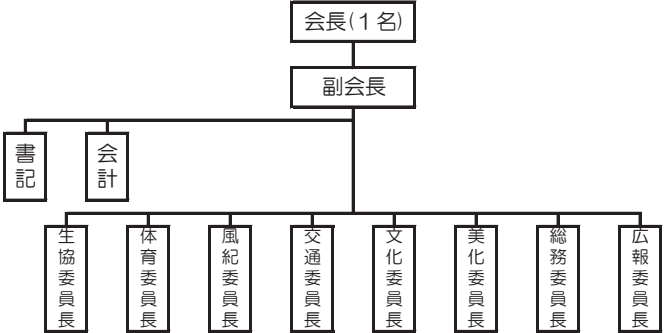
本郷キャンパス



射水キャンパス



※役員会の機構



クラブ活動

本郷キャンパス

体育系クラブ

陸上競技
サッカー
野球
柔道
弓道
剣道
バレーボール
バスケットボール
バドミントン
テニス
ハンドボール
水泳
卓球

文化系クラブ

吹奏楽
メカテック
茶道
ピアノ
芸術
軽音楽
囲碁・将棋
鉄道
知能プログラミング研究

体育系同好会

ラグビーフットボール

射水キャンパス

体育系クラブ

ヨット
漕艇（カッター）
陸上競技
バスケットボール
バレーボール
テニス
野球
サッカー
バドミントン
卓球
剣道
フリースタイルダンス
水泳

体育系同好会

柔道
ラグビー

文化系クラブ

新聞
デジタルメディア創作
吹奏楽
メカトロ技術研究

文化系同好会

茶道
軽音楽
ESS
美術
文芸
アントレプレナー研究
機関学
書道
写真
ボランティア



剣道



メカトロ技術研究



メカテック



漕艇(カッター)

■ 福利厚生施設

本郷キャンパス

学生ラウンジ・図書館前ロビー

図書館の1階にある学生ラウンジは、学生が勉強会をしたり、会議をしたり、セミナーを開いたりもできる多目的スペースです。このほかにも、図書館前ロビーなど、学生がゆったりとすごせるスペースも設けています。

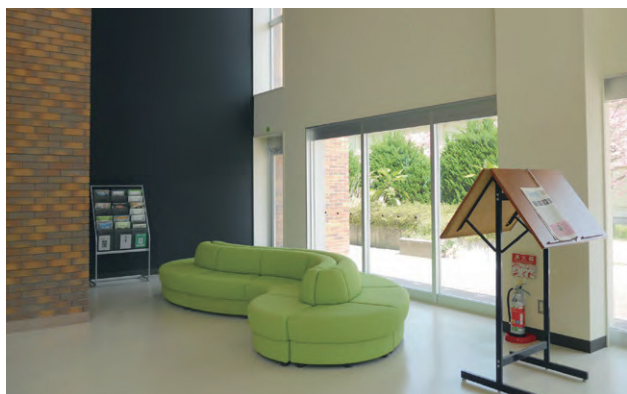
竹明館

福利施設である本館1階には食堂と生協売店があるほか、1階と2階の各室は、学生会活動等、課外活動の場として、有効に利用されています。

また、本施設とは別に、課外活動のための宿泊施設として合宿研修所があります。



学生ラウンジ



図書室前ロビー



売店

射水キャンパス

奈呉の浦会館

本会館1階南側に100席の食堂と館内中央ホールの一 cornerに談話コーナー、2階には多目的集会室、研修室、学生会室、美術室及び16畳の大きな和室があり茶道等の課外活動の場として有効に利用されています。また、本会館隣接地には、生協売店が福利厚生の充実を目的に設置されており、快適な学生生活に寄与しています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

学生相談室

学生相談室には、室長、並びに相談員（教職員）、看護師、カウンセラー（臨床心理士等）、ソーシャルワーカーが配置されています。

学業・進路、友人関係、クラブなど学校生活に関する相談、精神衛生に関する相談、個人的な問題など、スタッフが学生と一緒に解決の方法を考えます。また、学生だけでなく保護者からの相談も受けつけています。

各キャンパスの相談室の開室時間は以下の通りです。



学生相談室（本郷キャンパス）



学生相談室（射水キャンパス）

本郷キャンパス

学 生 相 談 室	月～金	相談員	15:30 - 17:00
	月～木	カウンセラー	13:00 - 17:00
	金	ソーシャルワーカー	13:00 - 17:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00

射水キャンパス

学 生 相 談 室	月～金	相談員	随 時
	月～水・金	カウンセラー	13:00 - 17:00
	木	ソーシャルワーカー	13:00 - 17:00
保 健 室	月～金	看護師	8:30 - 17:00

学生寮

学生の就学の便を図るため、学生寮を設置しています。本郷キャンパスでは「^{ぎょうがくりょう}仰岳寮」、射水キャンパスでは「^{わかいりょう}和海寮」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

これらの学生寮は、アパートや下宿とは異なり、開寮期間中は教職員が常駐し、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風の醸成を目的としています。

また、寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。それらを通して学生寮には、家庭にはない友人との語らいや先輩・後輩の付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

近年では、設備の老朽化や国際交流の推進などの状況を踏まえ、学生寮の整備を計画的に行っており、令和3年度には仰岳寮4号館、令和4年度には和海寮第3寮棟、令和5年度には和海寮第1寮棟の改修工事を実施しました。仰岳寮には長期留学生在が滞在しており、交流用のラウンジが設置され、また和海寮には「国際寮」として、ラーニングコモンズという日本人学生と留学生在が学び合う場が新設されました。

仰岳寮（本郷キャンパス）

令和7年5月1日現在

学 科	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	合 計
機械システム工学科	16 (5)	14 (3)	13 (2) 《1》	11 (1) 《1》	9 (1)	63 (12) 《2》
電気制御システム工学科	5 (2)	10	11 (1) 《1》	10 (2) 《2》	12 《1》	48 (5) 《4》
物質化学工学科	9 (5)	10 (6)	9 (6) 《1》	11 (2) 《2》	11 (7) 《1》	50 (26) 《4》
合 計	30 (12)	34 (9)	33 (9) 《3》	32 (5) 《5》	32 (8) 《2》	161 (43) 《10》

() は女子、《 》 は留学生在で共に内数

和海寮（射水キャンパス）

令和7年5月1日現在

学 科	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	合 計
電子情報工学科	5 (2)	14 (5)	9 (1) 《3》	10 (4) 《2》	5 (4)	43 (16) 《5》
国際ビジネス学科	17 (13)	15 (14)	12 (7)	5 (3)	7 (5)	56 (42)
商船学科	25 (7)	27 (15)	19 (4)	14 (7)	16 (2)	101 (35)
合 計	47 (22)	56 (34)	40 (12) 《3》	29 (14) 《2》	28 (11)	200 (93) 《5》

() は女子、《 》 は留学生在で共に内数

12 地域社会との連携

■技術振興会

富山高等専門学校技術振興会は、本校を拠点とした研究交流を通じて、産学官協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資するとともに、本校の教育に関して必要な助成を行うことを目的に設立されました。現在、会員は企業会員309社、個人会員22名です。
(令和7年5月1日現在)

設立の経緯は、平成17年8月に技術振興会発起人会が立ち上がり、同年10月に設立の運びとなりました。平成21年10月に高度化再編し富山高等専門学校となってから同年12月の総会で現在の形となりました。歴代の会長は次の方々です。

- 初代：田中 一郎 田中精密工業株式会社／代表取締役社長
(任期：平成17年10月24日～平成19年10月31日)
- 第2代：宮野 兼美 立山マシン株式会社／代表取締役社長
(任期：平成19年11月1日～平成21年12月13日)
- 第3代：河村 孝一 朝日印刷株式会社／代表取締役社長
(任期：平成21年12月14日～平成23年10月27日)
- 第4代：松田 登 ファインネクス株式会社／代表取締役社長
(任期：平成23年10月28日～平成25年10月31日)
- 第5代：藤堂 利一 藤堂工業株式会社／代表取締役社長
(任期：平成25年11月1日～平成27年11月2日)
- 第6代：濱 尚 朝日印刷株式会社／代表取締役社長
(任期：平成27年11月3日～令和元年11月1日)
- 第7代：石崎 大善 株式会社アイザック／代表取締役社長
(任期：令和元年11月2日～令和5年11月1日)
- 第8代：杉野 岳 株式会社スギノマシン／代表取締役副社長
(任期：令和5年11月2日～現在)

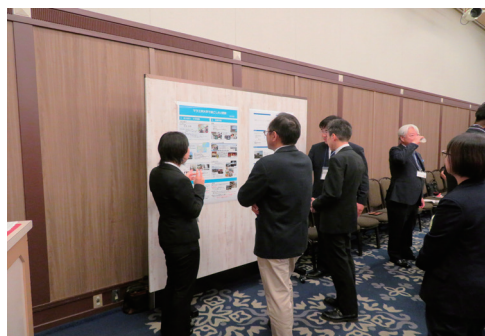
技術振興会の事業として、会員企業向け事業の例を次に示します。

●講演会等の開催

- ・令和5年度富山高等専門学校技術振興会総会(R5.11.2)にて富山高等専門学校教員3名によるシーズ紹介やプロジェクト事業紹介等の講演
- ・令和6年度富山高等専門学校技術振興会総会(R6.10.31)にて専攻科生による事例・成果発表会及び会員企業との意見交換会

さらに、本校への技術振興会からの支援事業の例については次の通りです。

- ・学生インターンシップ事業の支援
- ・キャリア教育・就職支援
- ・会員企業と富山高専の学生との連携教育の実施(Ti-TEAM)
- ・会員企業を富山高専の学生に紹介する企業研究会の開催
- ・富山高専コーディネーターの産学官連携活動を支援
- ・会員企業との共同研究に対する助成



意見交換会の様子



産学連携教育の様子

公開講座（令和6年度実施）

講座名	開設分野	受講対象者	実施時期	募集人数
ロボットプログラミング体験 AI×ロボットアーム	機械系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	20
自動操縦でドローンを飛ばそう！ ～ドローンでプログラミング体験～	機械系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	20
金属博士になろう！	機械系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	12
AIってなんだろう？ AI(人工知能)プログラム体験	電気・電子系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	15
エレクトロニクスものづくりとプログラムの基礎体験 ～ スマホの基礎技術を学んで遊ぼう ～	電気・電子系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	16
ロボティクス講座～二足歩行ロボットを歩かせよう～	電気・電子系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	16
細胞分裂期の染色体の観察	物質系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	20
“賢い”プラスチックとマイクロプラスチック汚染対策技術	物質系	中学生	令和6年8月3日～8月4日	16
IoTによる電子工作・プログラミング体験	情報系	中学生	令和6年8月3日～8月5日	24
スマホアプリって自分で作れるの？	情報系	中学生	令和6年8月3日～8月5日	30
ロボットの頭脳とはー LEGOを使ったプログラミング実験 ー	情報系	中学生	令和6年8月3日～8月5日	20
国際ビジネス学科について学ぼう！	人文系	中学生	令和6年8月3日～8月5日	60
練習船若潮丸で商船学科の実習を体験してみよう	商船系	中学生	令和6年8月3日	30
若潮丸に乗って船、海、港の仕事を見てみよう	商船系	中学生	令和6年8月4日～8月5日	40
国語の教科書を読みなおす～「走れメロス」は盗作か？～	人文系	中学生	令和6年8月3日	10
ロシア語会話を体験してみよう！	人文系	中学生	令和6年8月4日	15
実践英語コミュニケーション講座	人文系	中学生	令和6年8月5日	25
折り紙工学を利用した設計製作	機械系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	20
AIってなんだろう？ AI(人工知能)プログラム体験	電気・電子系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	15
エレクトロニクスものづくりとプログラムの基礎体験～スマホの基礎技術を学んで遊ぼう～	電気・電子系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	16
ロボティクス講座～二足歩行ロボットを歩かせよう～	電気・電子系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	16
薬の分析をしてみよう	物質系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	8
納豆のネバネバのもとを取り出してみよう！	物質系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	16
空中の電波を見てみよう！／人工知能とじゃんけんしよう！	情報系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	28
国際ビジネス学科について学ぼう！	人文系	中学生	令和6年10月26日～10月27日	60
船の仕事を見てみよう 海と船と港を学ぶ	商船系	中学生	令和6年10月26日	40
海運のエッセンシャルワーカーの仕事体験	商船系	中学生	令和6年10月27日	40

出前授業（令和6年度実施）

講座名	開設分野	受講対象者	開設時期	受講可能人数
たまごを守れ！アイデア発明教室	機械系	小・中学生	通年	10～40
スクラッチで学ぶ初心者向けロボットプログラミング教室	機械系	小・中学生	通年	40
タイタニックはなぜ沈んだのか。金属材料の性質	機械系	小・中学生	通年	40
電車はなぜ「ガタン、ゴトン」と走るのか。金属の熱膨張の可視化	機械系	小・中学生	通年	40
金属博士になろう	機械系	小・中学生	通年	20
教科書では教えてくれない周回ゲームの統計の秘密	機械系	中学生	通年	10
LEGOを使ったロボットプログラミング実習	電気・電子系	小・中学生	通年	12以下
レーザーを使ってマイクロの世界を覗いてみよう	電気・電子系	小・中学生	通年	10～40
スマホなどのワイヤレス充電化について考えてみませんか	電気・電子系	小・中学生	通年	10
AIに触れてみよう	電気・電子系	小・中学生	通年	10
金と宝石の化学	物質系	中学生	通年	10～40
タグラグビー！初めはみんな未経験	スポーツ	小・中学生	通年	10～30
ロシアってどんな国？ロシア語で話してみよう！	人文系	中学生	通年	10
海・船があってよかったと思うための授業	商船系	小・中学生	通年	40
ペーパークラフトでエンジンの仕組みを学ぼう	商船系	小・中学生	通年	15以下
大型船の航海用コンパスに触れ、海図で航法計算をしてみよう	商船系	中学生	通年	20以下
船を支える日本の経済 ～ロンドンまで行ってみよう～	商船系	小・中学生	通年	30～40
帆船の魅力 ～未来のグリーントランスフォーメーションに向けて～	商船系	小・中学生	通年	40～50
ロープワークとロープでマット作り	商船系	小・中学生	通年	30
帆船の走るしくみと帆船の航海	商船系	小・中学生	通年	40～50
海王丸のお話と帆船海王丸見学	商船系	小・中学生	通年	20

13 研究活動

■ 科研費採択状況

文部科学省科学研究費助成事業

種目	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
基 盤 研 究 (A)	件 数	0	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0	0
基 盤 研 究 (B)	件 数	1	1	1	0	0	0
	金 額	4,030	5,070	2,340	0	0	0
基 盤 研 究 (C)	件 数	26	27	27	23	23	21
	金 額	38,870	36,660	34,970	26,130	31,590	22,750
挑 戦 的 研 究	件 数	0	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0	0
若 手 研 究 (B) ※1	件 数	2	0	0	0	0	0
	金 額	1,950	0	0	0	0	0
若 手 研 究 ※2	件 数	3	4	4	5	4	4
	金 額	2,470	2,470	2,860	6,240	5,980	2,600
研究活動スタート支援	件 数	0	0	1	1	0	0
	金 額	0	0	1,560	1,560	0	0
特 別 研 究 員 奨 励 費	件 数	0	0	0	0	0	0
	金 額	0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費 ※3	件 数	1	0	0	0	0	0
	金 額	460	0	0	0	0	0
奨 励 研 究	件 数	2	4	2	5	5	1
	金 額	1,080	1,800	920	2,230	2,240	470
合 計	件 数	35	36	35	34	32	26
	金 額	48,860	46,000	42,650	36,160	39,810	25,820

金額単位：千円 間接経費含む ※1 平成30年度より募集停止 ※2 平成30年度より募集開始 ※3 令和元年度採択分から科研費として実施

■ 共同研究実施状況

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	59	63	66	62	68	63
金 額	26,066	23,234	22,734	25,975	21,586	21,875

金額単位：千円

■ 受託研究・受託事業実施状況

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	13	9	10	10	10	10
金 額	9,940	17,284	27,608	42,885	44,306	30,954

金額単位：千円

■ 寄附金受入状況

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件 数	23	23	22	25	30	36
金 額	27,823	36,703	30,844	29,771	39,759	32,385

金額単位：千円

14 国際交流活動

国際学術協定校

□米国・ハワイ大学

カウアイコミュニティカレッジ

平成 21 年 10 月、本校と米国ハワイ州のカウアイコミュニティカレッジ (KCC) と国際学術協定書が交わされ、また平成 22 年 11 月には、商船学科を設置している 4 つの高専を加えて全国 5 高専による包括協定が締結され、教員を対象として国際交流プログラムの推進や海事に関する専門知識の共有と向上、技術及び教育における連携を進めています。

□英国・北アイルランド

サウスイースタン地区連合力レッジ

英国北アイルランドサウスイースタン地区連合力レッジ (SERC) とは、平成 22 年 3 月に国際学術協定書に調印し、専攻科の国際インターンシップを行っています。現在も教員の相互訪問を続けながら国際交流活動を推進しています。

□ハンガリー・パズマニーペテルカトリック大学 PPCU、ブタペスト工科経済大学 BME

平成 27 年、ブタペスト市内の上記 2 つの研究機関、PPCU、BME との国際学術協定を締結しました。PPCU は 360 年の歴史を有するハンガリー最古の大学の一つであり、現在は情報工学と生体工学を柱とした 21 世紀の産業を担う学術領域の立上げを目指しています。BME はハンガリー最大の大学であり、世界中のトップ企業とも共同研究を進めている学際性、国際性に優れた大学です。今後、研究者及び学生の交流を促進させ、連携を通じた本校の研究・教育の発展をめざします。

□タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校

国立高等専門学校機構の包括協定校であるタイ・キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMILT) とは、平成 25 年 8 月に国際学術協定書に調印し、短期留学生を相互に受け入れています。また同大学から教員を招へいし、学生向け講義を実施したり、年 1 回程度、国際共同セミナーを実施したりしています。

□タイ・ランブーン農業技術カレッジ

平成 27 年に国際学術協定を締結しました。本校の学生とペアを組み、タイにある日系企業でインターンシップを行う枠組みでの交流を実施しております。



キングモンクット工科大学からの短期留学生と本校学生の交流学習



SERC からの訪問

□中国・東北大学

東北大学(中国遼寧省瀋陽市)との国際学術交流は本校の前身の一部である富山工業高等専門学校が平成 15 年 12 月に協定を締結したことに始まります。本校の統合に伴い、より深化した国際交流を目的として平成 22 年 10 月に再調印しました。

東北大学は、中国でトップクラスの実力を有し、国家重点大学の一つです。これまで、東北大学研究者の中期招聘研究交流、本校教員の長期海外研究員派遣、国際共同セミナーの実施等が行われています。

□シンガポール・テマセクポリテクニック、ナンヤンポリテクニック

両校とは、平成 23 年、25 年にそれぞれ国際学術協定を締結しており、主として短期留学生の受入による交流を継続的に実施しております。

□フィンランド・ヴァーサ・リュセオ高等学校

平成 29 年に国際学術協定を締結しました。現在、主に低学年の学生交流を実施しております。

□タイ・カセサート大学

令和 5 年 7 月に国際学術協定を締結しました。はじめは、本校商船学科の学生および教員との交流を目指します。

□マレーシア・マラ工科大学

令和 6 年 3 月に国際学術協定を締結しました。両校での学生及び研究者の交流を促進させ、連携を通じた本校の発展を目指します。

□台湾・長庚大学

令和 6 年 5 月に国際学術協定を更新しました。この更新に伴い、本校学生および専攻科生が長庚大学で研究活動を実施しております。

□インド・NES ラトナム芸術科学商業大学

令和 7 年 4 月に国際学術協定を締結しました。学生のみならず研究者の交流を促進させ、新たな国際活動の実施を目指します。



NES ラトナム芸術科学商業大学の学生と本校学生との交流学習



カセサート大学からの訪問

海外研修プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上、さらには海外での実務経験を目的とする海外研修プログラムが平成 18 年より開始されました。海外研修プログラムの開設に先立っては、研修相手校との協定締結や、本校教員による研修中の支援体制の整備など、安全かつ円滑な海外研修の実施に配慮しています。

□ 1 年留学プログラム

平成 20 年 4 月より 1 年間の留学プログラムを、国際ビジネス学科 3 年生を対象にカナダにて行っています。令和 4 年からブリティッシュコロンビア州カウチャン学区内の各高校にて実施しています。

□ 半年留学プログラム

平成 17 年に留学に関する協定を結び、平成 18 年 4 月より、異文化体験と英語研修を行っています。国際ビジネス学科の 4 年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センターで約 5 ヶ月活動するプログラムです。



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター留学中の学生

□ 異文化実習

研修先 台湾、キルギス、カナダ、米国等の各教育機関（※）
対象 本科 2～5 年生（※）
期間 3～4 週間
内容 語学やそれぞれの国の文化等を学ぶ実習
※研修先及び対象は、学科によって異なります

□ 英国・北アイルランド国際インターンシップ

研修先 現地企業・サウススイースタン地域連合カレッジ（平成 22 年国際学術協定締結）
対象 専攻科生（国際ビジネス学専攻・制御情報システム工学専攻）
期間 4 週間
内容 国際ビジネス学専攻：企業実習・カレッジでの専門講習（各 2 週間）
工学系専攻：語学研修・実務訓練（各 2 週間）

□ 東南アジア海外インターンシップ

研修先 県内企業のタイ・マレーシア現地法人
対象 専攻科生・本科 4 年生
期間 2～3 週間
内容 実務研修

□ アカデミック インターンシップ

研修先 ハンガリー、タイ、マレーシアの大学・研究機関
対象 専攻科生
期間 4 週間程度
内容 研究室に配属し、提携校・期間の指導教員の下で各自の研究課題に取り組む

□ ロシア語 インターンシップ

研修先 キルギス日本人材開発センター（令和 7 年インターンシップ実習に関する覚書締結）
対象 専攻科生・本科 4 年生
期間 5 日以上
内容 実務研修

□ 台湾研修

研修先 台湾（台北）
対象 全学年
期間 5 日間程度
内容 企業見学、現地大学生との交流等

短期留学生受入

国立高等専門学校機構との包括協定に基づき、平成 24 年 4 月より、タイ・キングモンクット工科大学ラカバン校から短期留学生を受け入れています。平成 25 年 8 月には本校と交流協定を締結し、受け入れ人数をさらに増やして交流を拡大しています。

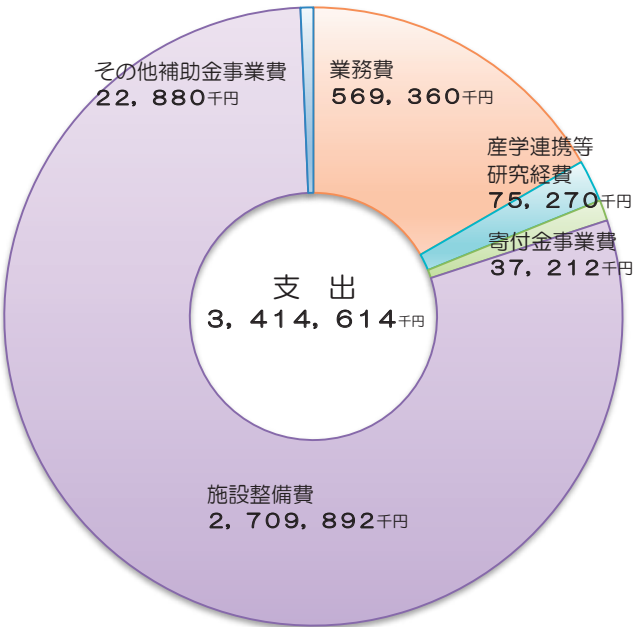
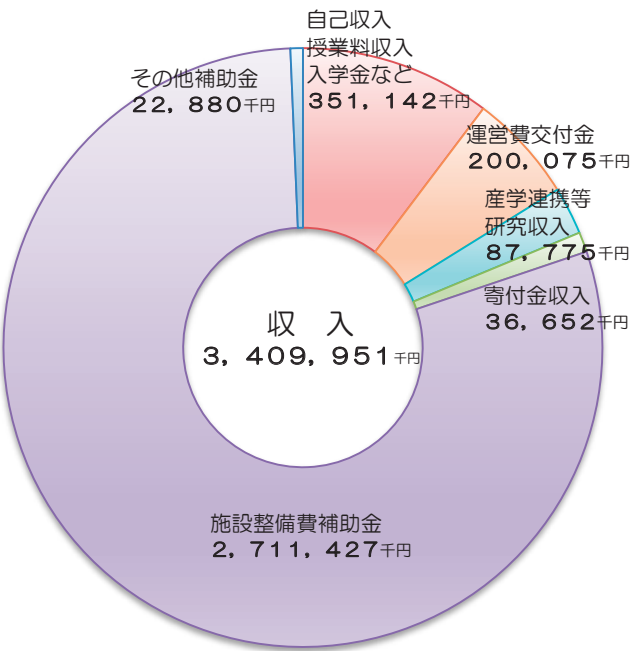
また、国立高等専門学校機構の包括提携校であり、本校の交流提携校でもあるシンガポール・テマセクポリテクニック、ナンヤンポリテクニック及びマレーシア・マラ工科大学からも、短期留学生を受け入れています。



マレーシア・マラ工科大学短期留学生による校長表敬訪問

15 財務状況

令和6年度予算



施設

[本郷キャンパス]

団地名		本郷団地		旭団地		計	
区分							
土地	校舎敷地	55,472				55,472	
	屋外運動場敷地	36,561				36,561	
	寄宿舍敷地	12,535				12,535	
	職員宿舍敷地	2,863		365		3,228	
	合計	107,431		365		107,796	

(単位：m²)

団地名		本郷団地		旭団地		計	
区分							
建物	校舎	13,973				13,973	
	体育館	3,674				3,674	
	寄宿舍	4,493				4,493	
	図書館	1,633				1,633	
	福利施設	1,227				1,227	
	管理部	1,483				1,483	
	その他	1,023				1,023	
	設備質	245				245	
	職員宿舍	789		105		894	
	(戸数)	(12)		(1)		(13)	
	合計	28,540		105		28,645	

(単位：m²)

[射水キャンパス]

団地名		海老江練合団地		堀江千石団地		計	
区分							
土地	校舎敷地	45,336				45,336	
	屋外運動場敷地	41,703				41,703	
	寄宿舍敷地	15,808				15,808	
	実験実習地			11,232		11,232	
	職員宿舍敷地	6,962				6,962	
	合計	109,809		11,232		121,041	

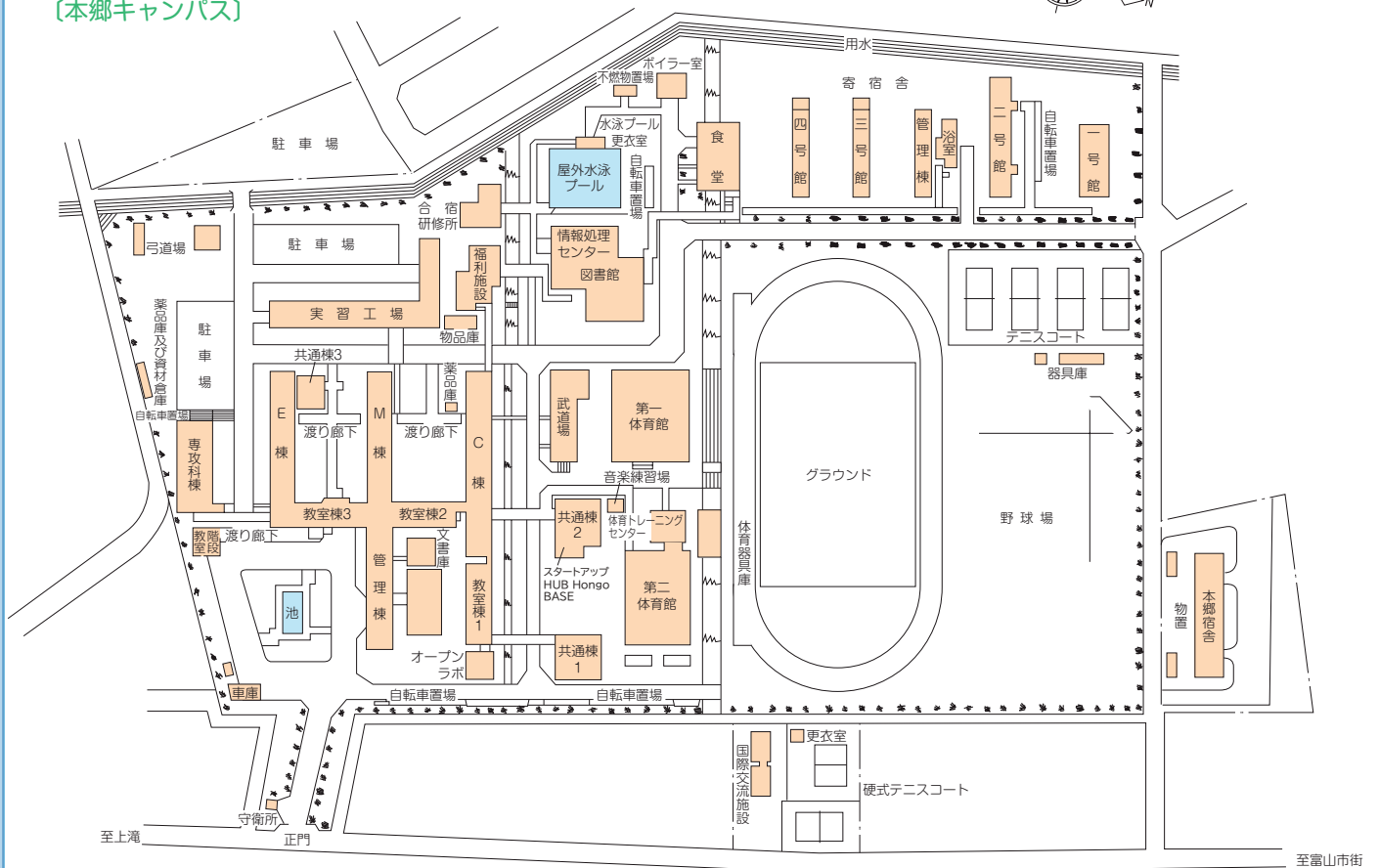
(単位：m²)

団地名		海老江練合団地		堀江千石団地		計	
区分							
建物	校舎	14,099				14,099	
	体育館	3,031				3,031	
	寄宿舍	7,029				7,029	
	図書館	1,626				1,626	
	福利施設	1,347				1,347	
	管理部	1,537				1,537	
	その他	996				996	
	設備質	399				399	
	職員宿舍	639				639	
	(戸数)	(9)				(9)	
	合計	30,703		1,423		32,126	

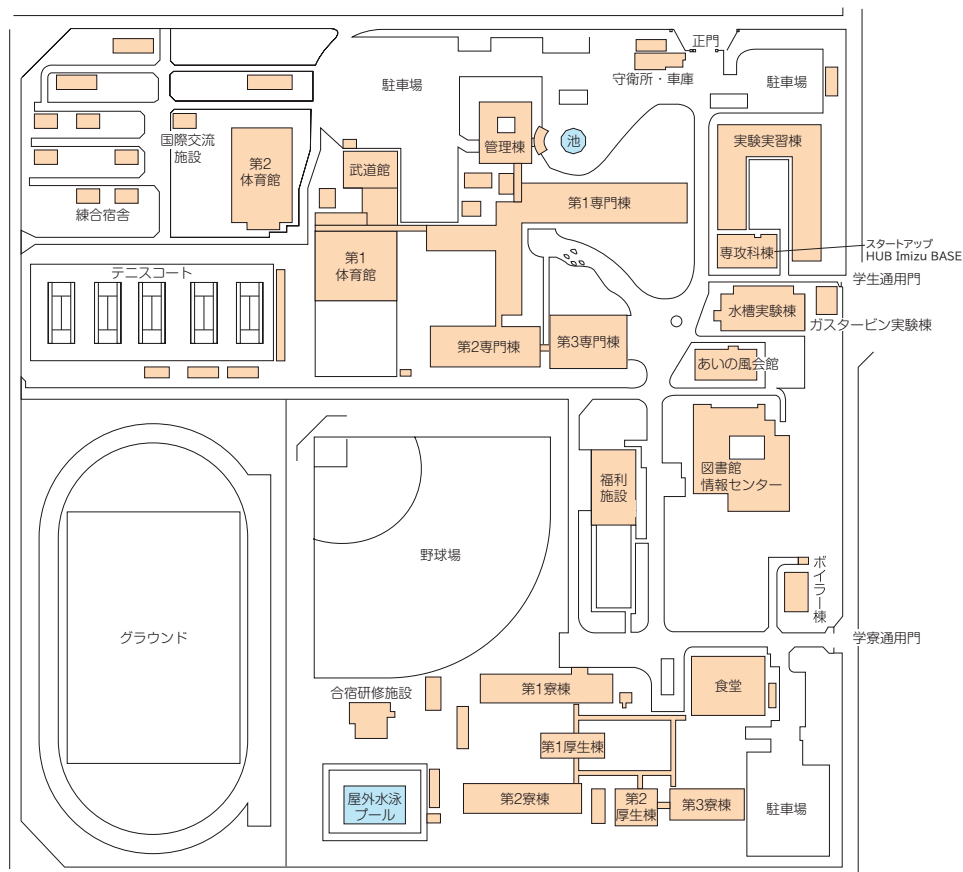
(単位：m²)

■ キャンパスマップ

〔本郷キャンパス〕



〔射水キャンパス〕



16 在学状況

学生の定員と現員

令和7年5月1日現在

定 員	学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	実習生	専攻科 1 学年	専攻科 2 学年	合 計
機械システム工学科	40名	42 (7)	42 (7)	42 (5) 《1》	43 (5) 《1》	38 (3)				207 (27) 《2》
電気制御システム工学科	40名	41 (8)	42 (1)	42 (9) 《1》	40 (7) 《2》	48 (4) 《1》				213 (29) 《4》
物質化学工学科	40名	40 (22)	41 (21)	42 (29) 《1》	44 (23) 《2》	42 (21) 《1》				209 (116) 《4》
電子情報工学科	40名	42 (10)	43 (9)	42 (11) 《3》	42 (13) 《2》	41 (16)				210 (59) 《5》
国際ビジネス学科	40名	43 (36)	40 (37)	43 (35)	45 (38)	42 (31)				213 (177)
商 船 学 科	航海コース	41 (11)	40 (19)	21 (8)	17 (7)	19 (5)	20 (7)			242 (75)
	機関コース			22 (5)	23 (9)	19 (2)	20 (2)			
エコデザイン工学専攻	24名							21 (6)	22 (5)	43 (11)
制御情報システム工学専攻	8名							10 (0)	10 (0)	20 (0)
国際ビジネス学専攻	4名							4 (4)	8 (7)	12 (11)
海事システム工学専攻	4名							5 (1)	4 (0)	9 (1)
合 計		249 (94)	248 (94)	254 (102) 《6》	254 (102) 《7》	249 (82) 《2》	40 (9)	40 (11)	44 (12)	1378 (506) 《15》

注1 () 内数字は、女子学生数を内数で示す。 注2 《 》 内数字は、外国人留学生数を内数で示す。

出身地別在学生数

【本郷キャンパス】

令和7年5月1日現在

所在地	学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	専 攻 科 1 学年	専 攻 科 2 学年	合 計
富 山 県		117 (35)	114 (24)	113 (38)	110 (31)	117 (23)	20 (6)	21 (5)	612 (162)
石 川 県			5 (4)		2		1	1	9 (4)
東 京 都			1 (1)			1 (1)			2 (2)
神 奈 川 県				1	1				2
新 潟 県	1					2			3 (0)
福 井 県					1 (1)				1 (1)
長 野 県				1 (1)					1 (1)
岐 阜 県	2 (1)	2	4 (1)	4	5 (3)				17 (5)
愛 知 県	2	2	1	1	1 (1)				7 (1)
三 重 県				1 (1)					1 (1)
滋 賀 県				2	1				3
兵 庫 県	1 (1)				1				2
和 歌 山 県		1							1
外 国				3 (2)	6 (3)	2			11 (5)
合 計		123 (37)	125 (29)	126 (43)	127 (35)	128 (28)	21 (6)	22 (5)	672 (182)

() は、女子で内数

【射水キャンパス】

令和7年5月1日現在

所在地	学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	実 習 生	専 攻 科 1 学年	専 攻 科 2 学年	合 計
富 山 県		90 (43)	89 (42)	95 (48)	95 (51)	96 (46)	20 (6)	14 (2)	19 (7)	518 (245)
石 川 県		8 (4)	10 (6)	10 (5)	8 (5)		3 (1)	1 (1)		43 (23)
北 海 道	1 (0)					1 (0)				2 (0)
宮 城 県						3 (0)	1 (1)			4 (1)
山 形 県			1 (0)		1 (0)					2 (0)
福 島 県			1 (1)							1 (1)
茨 城 県					1 (0)		1 (0)			2 (0)
群 馬 県			1 (1)	2 (0)			1 (0)			4 (1)
栃 木 県	2 (2)				2 (2)					4 (4)
千 葉 県	1 (0)		3 (1)	1 (0)	3 (1)		1 (0)			9 (2)
埼 玉 県	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)		1 (0)			1 (0)	6 (0)
東 京 都	4 (0)	1 (1)	1 (0)	2 (2)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	2 (1)		13 (4)
神 奈 川 県	2 (0)					2 (1)			2 (0)	6 (1)
新 潟 県		2 (2)	2 (1)				2 (0)			6 (3)
福 井 県			1 (0)							1 (0)
長 野 県	1 (1)	2 (2)			4 (2)	1 (1)	1 (1)			9 (7)
岐 阜 県	6 (2)	2 (1)	2 (1)	5 (2)	6 (3)	4 (0)				25 (9)
静 岡 県			2 (2)	1 (0)				1 (1)		4 (3)
愛 知 県	3 (0)	1 (1)	4 (0)	1 (1)	1 (0)					10 (2)
三 重 県							1 (0)			1 (0)
滋 賀 県	1 (0)	3 (3)	1 (0)	2 (1)						7 (4)
京 都 府		3 (2)			1 (0)					4 (2)
大 阪 府		1 (1)		1 (0)			2 (0)			4 (1)
奈 良 県	1 (1)			1 (0)						2 (1)
和 歌 山 県						1 (1)				1 (1)
兵 庫 県						1 (1)	1 (0)	1 (0)		3 (1)
香 川 県						1 (0)				1 (0)
鳥 取 県	1 (1)									1 (1)
山 口 県	1 (1)									1 (1)
福 岡 県							1 (0)			1 (0)
宮 崎 県		1 (1)								1 (1)
鹿 児 島 県				1 (0)						1 (0)
沖 縄 県	1 (1)									1 (1)
外 国	1 (1)			4 (2)	2 (0)	1 (0)				8 (3)
合 計		126 (57)	123 (65)	128 (59)	127 (67)	121 (54)	40 (9)	19 (5)	22 (7)	706 (323)

() は、女子で内数

17 入試状況

■ 本科入学者選抜

学 科		入学 定員	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数
機械システム工学科	推 薦	40	18	18	18	31	31	21	22	22	22	20	20	20	18	18	18	24	24	22	18	18	18
	学 力		46	46	23	64	64	21	45	45	21	31	31	23	21	21	24	37	37	20	26	26	24
	帰国生徒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		64	64	41	85	85	42	67	67	43	51	51	43	39	39	42	59	59	42	44	44	42
電気制御システム工学科	推 薦	40	30	30	20	35	35	20	25	25	20	29	29	21	22	22	22	23	23	21	20	20	20
	学 力		60	59	23	57	56	23	45	43	24	40	40	21	23	23	20	39	39	21	25	25	22
	帰国生徒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		80	80	43	78	78	43	65	64	44	61	61	42	45	45	42	60	60	42	45	45	42
物質化学工学科	推 薦	40	44	44	21	39	39	21	44	44	20	41	41	23	44	44	20	34	34	20	38	38	20
	学 力		62	62	20	59	59	20	55	50	23	54	54	19	37	36	20	28	28	21	38	38	20
	帰国生徒		1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		85	85	42	80	80	41	77	76	43	78	78	43	58	58	40	48	48	41	58	58	40
電子情報工学科	推 薦	40	49	49	20	38	38	20	44	44	24	34	34	20	37	37	20	40	40	20	37	37	20
	学 力		76	74	23	72	72	21	74	73	20	53	53	21	52	52	20	59	58	22	45	44	22
	帰国生徒		0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	全 体		96	96	43	94	94	43	101	101	44	73	73	41	72	72	40	79	79	42	66	66	42
国際ビジネス学科	推 薦	40	62	62	20	66	66	20	73	73	23	73	73	22	69	69	20	68	68	20	62	62	22
	学 力		76	73	23	72	70	23	71	71	21	74	72	22	70	67	22	70	69	20	50	48	21
	帰国生徒		0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0
	全 体		97	97	43	96	96	43	98	98	44	97	97	44	92	92	42	92	92	40	72	71	43
商船学科	推 薦	40	30	30	20	35	35	22	28	28	20	20	20	20	28	28	20	22	22	20	23	23	21
	学 力		49	49	22	50	50	21	47	45	22	31	31	21	32	32	22	23	23	22	36	36	20
	帰国生徒		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		70	70	42	73	73	43	67	65	42	51	51	41	53	53	42	43	43	42	57	57	41
合 計	推 薦	240	233	233	119	244	244	124	236	236	129	217	217	126	218	218	120	211	211	123	198	198	121
	学 力		369	363	134	374	371	129	337	327	131	283	281	127	235	231	128	256	254	126	220	217	129
	帰国生徒		1	1	1	4	4	2	2	2	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	0
	全 体		492	492	254	506	506	255	475	471	260	411	411	254	359	359	248	381	381	249	342	341	250

※各学科の「学力検査による選抜」における「受験者数」は第1志望の「受験者数」、各学科の「合格者数」には第2・3志望合格者数を含む。
※「志願者数」及び「受験者数」の全体は、「推薦による選抜」の数と、「学力検査による選抜」及び「帰国生徒特別選抜」の数から「推薦による選抜」の不合格数で「学力検査による選抜」または「帰国生徒特別選抜」の「志願者数」及び「受験者数」を除いた数を合算したもの。

■ 4年次編入学者選抜

学 科		入学 定員	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数
機械システム工学科		若干名	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0
電気制御システム工学科		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
物質化学工学科		若干名	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0
電子情報工学科		若干名	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0
国際ビジネス学科		若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0
商船学科		—																					
合 計		若干名	2	2	1	2	2	0	1	1	1	3	3	0	3	3	1	6	6	0	0	0	0

■ 専攻科入学者選抜

専 攻		入学 定員	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	志願 者数	受験 者数	合格 者数
エコデザイン工学専攻	推 薦	24	25	25	25	19	19	19	17	17	17	21	21	21	16	16	16	13	13	13	19	19	19
	学 力		12	8	4	9	8	8	21	20	14	21	21	8	15	14	11	14	14	10	14	13	7
	社 会 人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		37	33	29	28	27	27	38	37	31	42	42	29	31	30	27	27	27	23	33	32	26
制御情報システム工学専攻	推 薦	8	11	11	11	10	10	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10	9	9	9	8	8	8
	学 力		3	3	3	4	3	3	4	4	4	3	3	2	3	3	2	6	5	2	3	3	3
	社 会 人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		14	14	14	14	13	13	14	14	14	14	14	13	13	13	12	15	14	11	11	11	11
国際ビジネス学専攻	推 薦	4	3	3	3	5	5	5	2	2	2	2	2	2	5	5	5	6	6	6	3	3	3
	学 力		0	0	0	0	0	0	3	3	3	6	5	5	2	2	2	0	0	0	1	1	1
	社 会 人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		3	3	3	5	5	5	5	5	5	8	7	7	7	7	7	6	6	6	4	4	4
海事システム工学専攻	推 薦	4	4	4	4	0	0	0	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4	4	2	2	2
	学 力		1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	0	1	1	1	2	2	2
	社 会 人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		5	5	5	1	1	1	7	7	7	7	7	7	7	7	4	5	5	5	4	4	4
合 計	推 薦	40	43	43	43	34	34	34	35	35	35	39	39	39	36	36	35	32	32	32	32	32	32
	学 力		16	12	8	14	12	12	29	28	22	32	31	17	22	21	15	21	20	13	20	19	13
	社 会 人	若干名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全 体		59	55	51	48	46	46	64	63	57	71	70	56	58	57	50	53	52	45	52	51	45

19 進路状況

過去5年の主な進学先

本 科													
進学先	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	合計	進学先	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	合計
国立 富山高等専門学校専攻科	50	55	51	41	38	235	国立 京都大学	1	0	1	0	0	2
国立 北海道大学	0	0	0	1	0	1	国立 京都工芸繊維大学	1	1	0	2	2	6
国立 帯広畜産大学	0	0	0	0	1	1	国立 大阪大学	3	2	1	1	2	9
国立 山形大学	1	0	0	0	0	1	国立 神戸大学	5	4	1	5	1	16
国立 東北大学	3	1	1	1	1	7	国立 奈良女子大学	0	2	1	0	1	4
国立 筑波大学	2	2	4	3	0	11	国立 和歌山大学	0	0	0	1	0	1
国立 宇都宮大学	1	0	0	0	0	1	国立 岡山大学	1	1	0	0	1	3
国立 群馬大学	0	0	1	0	1	2	国立 広島大学	1	1	0	0	2	4
国立 埼玉大学	1	1	1	1	0	4	国立 徳島大学	0	0	1	0	0	1
国立 千葉大学	1	1	1	0	1	4	国立 九州大学	0	2	0	1	0	3
国立 お茶の水女子大学	2	1	1	0	1	5	国立 鹿児島大学	1	0	0	0	0	1
国立 東京大学	0	1	0	2	1	4	国立 鹿屋体育大学	0	0	1	0	0	1
国立 東京外国語大学	1	1	1	0	1	4	公立 東京都立大学	1	0	0	0	1	2
国立 東京海洋大学	1	3	2	4	5	15	公立 富山県立大学	1	0	0	1	0	2
国立 東京科学大学					2	2	公立 長野大学	1	0	0	0	0	1
(国立 東京工業大学)	2	1	2	1		6	公立 大阪公立大学	1	0	0	0	0	1
国立 東京農工大学	3	3	0	2	0	8	私立 放送大学	0	0	0	1	0	1
国立 電気通信大学	0	0	0	0	1	1	私立 工学院大学	1	0	0	0	0	1
国立 横浜国立大学	0	1	0	1	0	2	私立 中央大学	1	0	0	1	0	2
国立 新潟大学	5	3	1	1	3	13	私立 日本大学	0	1	0	0	0	1
国立 長岡技術科学大学	9	10	4	5	9	37	私立 早稲田大学	0	0	0	0	1	1
国立 富山大学	4	5	5	5	6	25	私立 福井工業大学	0	0	0	0	1	1
国立 金沢大学	2	3	4	11	9	29	私立 南山大学	0	0	0	0	1	1
国立 福井大学	0	0	0	4	0	4	私立 立命館大学	0	1	0	0	0	1
国立 信州大学	2	1	2	2	1	8	私立 京都女子大学	1	0	0	0	0	1
国立 静岡大学	1	0	0	2	0	3	私立 関西大学	1	0	0	0	0	1
国立 岐阜大学	0	0	0	0	1	1	私立 大手前大学	0	0	0	1	0	1
国立 名古屋大学	1	1	3	2	4	11	外国 キャピラノ大学	1	0	0	0	0	1
国立 豊橋技術科学大学	6	2	2	12	2	24							
国立 三重大学	0	0	1	0	1	2							
国立 滋賀大学	2	2	2	3	2	11	合計	122	113	95	118	104	552

専 攻 科													
進学先	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	合計	進学先	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	合計
国立 北海道大学大学院	0	0	0	1	0	1	国立 福井大学大学院	0	0	1	0	0	1
国立 東北大学大学院	1	3	2	2	6	14	国立 信州大学大学院	0	0	1	0	0	1
国立 福島大学大学院	0	0	1	0	0	1	国立 名古屋大学大学院	1	1	0	0	0	2
国立 筑波大学大学院	2	0	0	1	2	5	国立 豊橋技術科学大学大学院	1	0	0	0	0	1
国立 東京科学大学					0	0	国立 京都大学大学院	0	1	0	0	0	1
（国立 東京工業大学大学院）	4	1	1	4		10	国立 京都工芸繊維大学大学院	1	1	2	1	1	6
（国立 東京医科歯科大学大学院）	1	0	1	0		2	国立 大阪大学大学院	0	0	2	0	0	2
国立 電気通信大学大学院	0	0	0	0	1	1	国立 奈良先端科学技術大学院大学	1	1	1	1	0	4
国立 上越教育大学大学院	0	0	1	0	0	1	国立 広島大学大学院	0	0	0	1	0	1
国立 長岡技術科学大学大学院	0	1	2	3	0	6	公立 東京都立大学大学院	2	0	0	0	0	2
国立 富山大学大学院	0	1	1	0	2	4	公立 富山県立大学大学院	0	0	1	0	0	1
国立 金沢大学大学院	0	1	1	0	0	2	合計	15	11	19	16	12	73
国立 北陸先端科学技術大学院大学	1	0	1	2	0	4							

■ 過去5年の主な就職先

本科

機械システム工学科

SUBARUテクノ、北陸電力、花王、日産オートモーティブテクノロジー、モビテック、西日本旅客鉄道、東海旅客鉄道、日本貨物鉄道、中越合金鋳工、YKK AP、キタムラ機械、浜松ホトニクス、北陸日立、西日本電信電話、サントリーグループ、JALエンジニアリング、DMG森精機、不二越、高木製作所、京セラ、日本飛行機、三菱重工 三菱造船、東洋製罐、パナソニック、パナソニックインダストリー、パナソニックオートモーティブシステムズ、東京ガス、Daigas エナジー、大阪ガスマーケティング、北陸建工、あいの風とやま鉄道、鹿島建設、佐藤工業、新日本海重工業、LIXIL、富士フイルムマニュファクチャリング、東亜合成、アイシン軽金属、クラシエ製薬、雪印メグミルク

電気制御システム工学科

KOKUSAI ELECTRIC、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing、YKK、北陸電力、東京電力ホールディングス、中部電力、三菱電機、安川電機、富士電機、東日本電信電話、立山科学グループ、浜松ホトニクス、セイコーエプソン、コニカミノルタジャパン、西日本旅客鉄道、コーセル、富山村田製作所、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、シキノハイテック、北陸電気保安協会、Asian Bridge、FIXER、NTTコムソリューションズ、メンバーズ、北銀ソフトウエア、日立ハイシステム21、サントリープロダクツ、キャンノンマーケティングジャパン、ソニーGMO、コマツ産機、カワダロボティクス、キタムラ機械、モビテック、三菱電機ビルソリューションズ、YKK AP、北陸LIXIL製作所、タマディック、クラシエ製薬、第一三共プロファーマ、デジタル庁

物質化学工学科

富士フイルム富山化学、クラシエ製薬、東亜合成、第一三共プロファーマ、十全化学、アステラスファーマテック、日本曹達、立山化成、シミックCMO、花王、資生堂、YKK、東亜薬品、協和ファーマケミカル、昭和電工セラミックス、日東電工、大阪ガス、丸善石油化学、三井化学分析センター、塩谷硝子、旭化成、東レ、P&G、DIC、富士フイルム、サントリービール、サントリープロダクツ、サントリースピリッツ、大塚製薬工場、日本ペイント、昭和電工、森永乳業、日本たばこ産業、出光興産、アステラス製薬、日医工、日東メディック、日産化学、前田薬品工業、大和薬品工業

電子情報工学科

北陸コンピュータ・サービス、北陸電力、YKK、不二越、中部電力、関西電力、北陸LIXIL製作所、北銀ソフトウエア、NTTフィールドテクノ、日本オープンシステムズ、国立印刷局、明和eテック、サントリープロダクツ、NTTエムイー、FIXER、メンバーズ、大塚製薬、東芝インフラシステムズ、メイテックフィルダース、富士フイルム、網屋、NECネットエスアイ、日立ハイシステム21、タマディック、キャンノンマーケティングジャパン、CAC、飛翔ソフトウェア、科学情報システムズ、HBA、オーブラン、日本オーチス・エレベータ、立山マシン、東京ウエルズ、日本電算企画、アテック、アルファシステムズ、サントリーホールディングス、東京ガス、パナソニックシステムソリューションズジャパン、シマノ

国際ビジネス学科

YKK、YKK AP、旭化成、西日本旅客鉄道、東海旅客鉄道、大阪旭海運、小松製作所、北陸電力、トナミ運輸、シンク・ロジスティクス、フレイムワークス、ユニックス、andUS、JR西日本ヴィアイン、ザ・リッツカールトン沖縄、ラルフローレン、セカンドゲート、経済産業省、国土交通省、外務省、農林水産省、防衛省、財務省税関(東京、大阪)、衆議院事務局、参議院事務局、金融庁、出入国在留管理庁、富山県庁、東京都庁、富山県警察、警視庁、沼津市役所、富山大学、滋賀医科大学、水産研究・教育機構、統計センター、東京都下水道サービス

商船学科（航海コース）

川崎汽船、旭海運、旭タンカー、NSユナイテッド海運、ケイラインローバルシップマネージメント、ECLシップマネージメント、共栄タンカー、新日本海フェリー、福寿船舶、NX海運、鹿児島船舶、佐渡汽船シップマネージメント、第一中央内航、東幸海運、北星海運、海上保安庁、日本ガスライン、商船三井フェリー、井本商運、エムエスケイ、NSユナイテッド内航マリン、上野トランステック、オーシャントランス、共栄マリン、五栄土木、琵琶湖汽船、ニッスイマリン工業、日本海曳船、明和タンカー、津軽海峡フェリー、日本海洋事業、富洋海運、イノガストランスポート、宇徳、日本通運、新潟造船、山九、日本海事検定協会、新日本検定協会、日本海事協会

商船学科（機関コース）

日本郵船、商船三井、川崎汽船、商船三井オーシャンエキスパート、NSユナイテッド海運、JXオーシャン、共栄タンカー、ショックタンカー、太洋産業貿易、ENEOSオーシャン、新日本海フェリー、NSユナイテッド内航マリン、上野トランステック、鹿児島船舶、共栄マリン、播洋実業、海洋技術開発、早駒運輸、川崎近海汽船、大光船舶、佐渡汽船シップマネージメント、日本海曳船、福寿船舶、日本海洋事業、ヤンマーエンジニアリング、IH原動機、ジャパンマリンユナイテッド、NX海運、ケイビン、日本海事協会、寺崎電気産業、朝日工業社、日本ゼオン、YKK、YKK AP、東レ、出光興産、ダイキン工業、北陸LIXIL製作所、ダイキンアプライドシステムズ

専攻科

エコデザイン工学専攻

スギノマシン、KOKUSAI ELECTRIC、北陸電力、西日本旅客鉄道、東京電力ホールディングス、東京ガスネットワーク、MBM、ニコン、セイコーエプソン、SUBARUテクノ、東亜合成、日本曹達、コマツNTC、YKK、YKK AP、エヌアイシ・オートテック、日産化学、SMK、富山村田製作所、TSK、オークマ、ゼオンノース、リッチェル、日本車輛製造、本田技研工業、昭和電工セラミックス、クラシエ製薬、東亜薬品、トーキン、サンエツ金属、DMG森精機、シミックCMO、ダイヤモンドエンジニアリング、アイリスオーヤマ、富士化学工業、東京エレクトロングループ、大塚製薬工場、北電情報システムサービス、ソフトバンク、日東電工

制御情報システム工学専攻

KOKUSAI ELECTRIC、北銀ソフトウエア、アルファシステムズ、インテック、パナソニックインダストリー、PFU、NECネットエスアイ、明和eテック、メンバーズ、アジアクエスト、網屋、ウイルテック、エニシフルコンサルティング、CAICA、関西電力、高エネルギー加速器研究機構、小松製作所、シーケー金属、セイコーエプソン、成和システムエンジニアリング、ソニー、東海旅客鉄道、東京ウエルズ、トヨタ自動車、日東電工、日本オープンシステムズ、Hajimari、ビーネックスソリューションズ、富士通、富士通クラウドテクノロジーズ、富士通ネットワークソリューションズ、富士電機、北電情報システムサービス、北陸コンピュータ・サービス、メトロ、YKK

国際ビジネス学専攻

andUS、Another works、MINAMI、YKK、アールディーシー、アミークス、インテック、スガキ、学研ココファン・ナーサリー、近藤建設、松田産業、土の力、東工業、保志、北日本物産、北陸チューリップ

海事システム工学専攻

日本海洋事業、東海運、NSユナイテッド内航マリン、日本海曳船、日本通運、ダイトコーポレーション、伊勢湾海運、新日本検定協会、YKK、立山マシン、東京計器、商船三井システムズ、商船三井テクノレード、東亜合成、朝日工業社、堀江商会、日清工業、国土交通省、海技教育機構、富山県庁

■ アクセスマップ



本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町 13 番地
TEL: 076-493-5402 FAX: 076-492-3859

- バス／富山駅南口バスターミナル5番乗り場から「国立高専（朝菜町経由、下堀経由）」行きで約30分、「国立高専」（終点）下車
- 電車／電鉄富山駅から「岩崎寺」行きで約14分、小杉駅下車、徒歩15分
岩崎寺駅から「電鉄富山」行きで約15分、布市駅下車、徒歩15分

射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合 1 番 2
TEL: 0766-86-5100 FAX: 0766-86-5130

- バス／富山駅南口バスターミナル4番乗り場から「新港東口」行きで約30分、「練合」下車、徒歩2分
富山駅北口バスターミナル2番乗り場から「国立高専射水」行きで約40分、「国立高専射水」（終点）下車
高岡駅北口バスターミナル5番乗り場から「富山高専」行きで約45分、「富山高専」（終点）下車
- 射水市コミュニティバス（新湊のみ）、のろーと射水も利用可

<https://www.nc-toyama.ac.jp>